年中無休刊　大正七年八月二十六日　THE KEIJO NIPPO　（明治三十九年九月八日第三種郵便物認可）　第三千九百二十五號　（一）

京城日報

發行兼編輯人　奧田直毅　印刷人　小川三之介　發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社

大正七年七月一日改正現行

八月二十五日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇ヴェ河畔の戰闘

カルムイコフ枝隊及チェック軍の敗退＝我軍の増援收容戰

陸軍省公表＝ヴェーラ河左岸チェック軍陣地の右翼アントノフカ附近にありしカルムイコフ枝隊は二十日朝優勢なる敵の强襲を受けて退却し次でチェック軍も退却の止むなきに至りしよりスイヤギノ附近の我軍は敗退せる友軍を收容し後該方面の我軍、佛軍、チェック軍、カルムイコフ枝隊にて同地附近を占領せり該方面の第一線に現はれたる敵兵力は約五大隊なり尚歩兵約一大隊砲四門を有する敵は二十一日新陣地の左翼チェック軍守備方面に接近せるを以て大井師團長は若干の歩砲兵を該方面に增援したり此の收容戰に於て我部隊に若干の死傷者あり（東京特電號外再錄）

◇戰闘頗る激烈

我増援隊死傷比較的多數

某所著電情報に依ればチェック軍の敗退は慘狀を極め敵は一大隊を增加し大井師團長は增援隊を派遣したるが我軍死傷は部隊數に比し多數にて今や頗る激烈に戰闘行はれ居れるが如し（檢閲濟東京特電＝號外再錄）

◇米人資金貸附

浦鹽市會に對し＝市街鐵道擔保

若干の米人は浦鹽市會との間に契約を結び三百五十萬留を釀出し市街鐵道を擔保として之を市に貸附たりと（浦鹽特電）

◇米國鐵道隊配置

最近米國より東清鐵道に派遣されたる鐵道隊の一部は浦鹽にありしが右は今回烏蘇里線に配置する事に決せり（東京特電）

◇敵將の命令に答ふ

佛軍ソアソン西方に達す

マンジャン將軍の贏ち得たる成功は二十五粁以上の前線に行はれたりアルベールよりオスリー村に亘る地方に於て佛軍はエーヌ河畔に達し更にソアソンの西方に達したるが最も遠き地點は百粁以上を隔てたり共聯絡點はヒカデーミタルデノアとの兩線上間に當り居れり廿日佛軍の勝利は獨のルーデンドルフ將軍が八月四日其士卒に發したる命令に答へたるもの也其命令に於てルーデンドルフ將軍は英、佛、米軍は最早攻勢を再開する事能はずと傲語せり（巴里二十日發電）

◇南方國會宣言

其筋著電＝南方國會は十九日兩院聯合會を開き國會宣言書を議決宣布せり該宣言書は北方非法政府貴國の罪狀を述べ民國憲法は國會にて制定すべき事、約法を破棄するものは人民の公敵たる事、國會の非法解散軍政府組織等を述べ更に非法政府公布の法律命令は絶對に効力無し非法政府締結の條約、契約、公債等にて國會の議決を經ざるものは無効とすといふにあり（東京特電）

◇南北妥協の外無し

伍延芳氏が西南各省を代表して列國に致せる宣言書に對しチャイナプレス、デーリーニュースの兩紙は最早南北調停妥協の外無きに至り連盟各國は之れに對し助力す可き時機に達せり此の際連盟國の傍觀し居るは不可なりと論ぜり（上海特電）

◇南北戰終熄要求

岑春煊、陸榮廷兩氏連名にて馮國璋氏に對し南北戰爭終熄方努力を要求せり（上海特電）

◇三督軍時局解決打電

長江三督軍は時局解決を前にし總統選擧を後にせんとの議を北京政府に對し連名打電せり（上海特電）

◇經濟援助會

第二回開會

西伯利亞經濟援助委員會は一兩日中に第二回會議を催しイルクック以東にて缺乏し居る物資供給に就ても立案すべく又西伯利亞地方に病人多きを以て赤十字救護班以外に醫員を派し尚英米救援團との聯絡方法等に關しても具體的決定を爲す筈なりと（東京特電）

◇閣議日取復舊

內閣會議は暑中休暇中毎週水曜開會の處時局多端の折柄來週よりは毎週火曜、金曜の兩日孰れも午前九時より開會の事に復舊せり（東京特電）

◇帝都有力銀行

日歩引上

財界變調趨勢

財界は既に變調の趨勢を呈し今後注意を要する時機となり且つ通貨收縮物價騰貴の勢ひを緩和する上より東京市內の銀行は貸出日歩一錢四厘を大厘に引上方斷行すべしと（東京特電）

◇謝禮使歷訪

チェック軍謝禮使スパチェック大佐は廿四日午前十時隨員と共に佛大使館附武官の案內にて大島陸相を訪ひ謝意を述べ更に參謀本部に上原總長、田中次長を訪問し同樣謝意を表したり（東京特電）

◇霧島艦歸港

海軍省公表＝霧島艦はコンノート殿下御歸途の乘用に充て七月十日宮島を發し英領加奈陀ヴィクトリヤに到りたるが此の程無事任務を終り二十四日横須賀軍港に歸港せり（東京特電）

◇九州記者大會

九州記者大會は二十四日午後一時より福岡市第一公會堂に於て開會、來會者三十餘名午後五時散會せるが有決議文左の如し（門司特電）

現內閣は由來言論の自由を尊重せず壓迫の行動頻々相踵ぐ殊に近日は出兵問題、米價問題騷擾に關する記事差止め命令の如き昔時も亦極まれり吾人各々政見を異にし或は政派或は別なりと雖も共に立憲を以て社會の進運に資するを任とするもの言論の自由を擁護するに於ては其の揆を一にす即ち現內閣の言論壓迫は甚だ非立憲なり內閣は宜しく其の責を負うて速に處決すべく右決議す

◇長島氏應援

埼玉政友會は候補者を立てず長島隆二氏を應援することに決せり（東京特電）

◇熔鑛爐火入式

三菱製鐵所第二熔鑛爐竣工し廿四日午後九時火入式を擧行したり（兼二浦特電）

◎總督軍司令官訪問

長谷川總督は廿五日午前十一時頃大島副官を從へ宇都宮軍司令官を龍山官邸に訪問せり

◎軍事郵便注意

京城局直接交換局指定

西伯利及び滿洲方面の派兵に伴ない今回軍事郵便物の取扱制限に關する大正三年九月告示の一部改正せらるゝと共に京城郵便局を直接交換局に指定されたるが遞信局にては併せて各郵便局所長に對し軍事郵便物取扱方に關し種々注意する所ありたり今其の要領を摘記すれば左の如し

▲山東方面派遣軍事郵便に付ては從來の通り私用小包郵便物を除き其他は總て規程の通り取扱ひ得るも西伯利及北滿方面に對しては軍人及之と同一と見做したる定期刊行物、第四種郵便物以外のものに限り之を取扱ふこと

▲京城郵便局を軍事郵便直接交換局に指定されたるに付當管內より發する軍事郵便物は軍事郵便取扱規程第七條に依り同局宛差立のこと尤も山東方面派遣軍事郵便物にして其宛書に依り山東省に達するものなること判明せるものは從來の通り一般郵便物と同樣取扱ふ事

◆對露援助委員會設立に就て◆

事は敏速を尚ぶ

早川千吉郎氏談

援露委員會の設立は、敢て言はしむれば其の時期既に後れてゐる位である。露西亞の同情すべき事情を考ふることは一國としての交誼の上から見ても、又人道の上から見ても、其の

▲窮困の狀態 に對しては早く既に之れが施設を爲すが當然であつたのである。然し、是れも國際關係等の事から之れが施設の今日迄遲れるやうになつたことは遺憾ではあるが、亦止むを得ない次第である。然れば今日是れが設立さるゝに至りし以上は、速かに敵國の最も缺乏を來してゐる物資供給を爲すとか、商工業の回復、貿易の復活を爲す等の援助を與ふるの策に出づべきである。之恐らくは我國民としても同感たるを疑はないと唯先づ以て

▲切實に感ず ることは如何なる方法を以て援助するのが適當であるかといふことである。時節も漸く寒さに向つてゐることなれば、諸物資の運搬其の他の上にも漸次不便を感ずるやうになるは勿論であるから一日も早く拙速を尊ぶといふ位の考へを以て其の目的を著々實現して行くべきであらうと信じてゐる。最も此等救援の事に關しては、英國や米國等も既に我が國と同じことを發言してゐる事故、從つて聯合與國との聯絡を圖り同時に意思の疏通を計つて置くことは必要である。然し

▲場合が場合 とて急も角も此の事たるや場合が場合だけにくといふことが第一の問題である。これ迄も他に種々の委員會なるものが出來たこともあるが常に其の時期の遲いのとその効力實現の遲くなることがあつて其効果を發揮することが出來なかつたことがある。要は折角の事も時期の遲れることいふことは斯る事業に對する第一番の禁物である（東京支局）

◎小額紙幣發行高

鮮內約八十萬圓

鮮內各地に於ける小額紙幣の需要は銀行券の縮限商取引の繁盛に伴ない春來著しきものあり最近鮮銀國庫課の調査によれば十錢廿錢五十錢三種紙幣の發行高は約八十萬圓に達し尚ほ毎日三千圓乃至五千圓の發行增ありその百萬圓を算するは近き將來なるべしと

▲支拂手形回收 小額紙幣發行の漸增に伴ない昨秋より今秋までに鮮內に排出されある鮮銀小額券の回收は漸次進捗しつゝあるもその引上の完了は容易にあらず目下の所回收約四十萬圓にして鮮內流通高の推算二十五六萬圓の豫定なる由

政界の暗鬪（下）

八月二十日夜　城南生

◎現に侯は非常の乘り氣にて、アワよくば再び出現して政局を擔當する大野心あり、一部の者に對しては大に油をかけた形跡がある。侯を招待して時局談を聞かんと云ふ迄に進みたれど、其の內陛下の御不幸となり、日光伺候も見合せとなつた。

◎兎に角侯に野心あるは事實なれば、憲政會の幹部が動き出したのも、其の間一脈の聯絡無しと云ひ得ざるものあるが如し。但し何れにしても眞面目の方略にあらず、兎も角破壞が目的とする以上は萬一を僥倖するに過ぎないものと思はれます

◎二十一日陛下の還幸は、決して內閣より奏請したのでなく、全く宮中で御繰上げになつたもの、やうです。併しこれは必ずしも政局に關係無く、第一元帥會議の改正、假刀制式の制定及び對英答禮使御派遣の件等が御急ぎの爲めにあらずや拜察せらる

◎勿論國內騷擾事件に關し、宮中に於かせられても御軫念あらせられたるは事實ならんも、政局問題と還幸とは何の關係も無きが如し。明日頃より新聞紙上、盛んに兎角の説を傳へんも、今の處、全く取るに足らずと信ぜらる

◎山縣公も近々小田原より歸京の説あれど未だ確定せず、政府よりは騷擾事件報告をし先に田健相を遣はし、又一昨日は後藤外相の往訪を見た位です

◎後藤外相は、滿洲里出兵、之に對する聯合國の諒解、西伯利亞援助經濟委員會設置等の報告に參候したるもの、如し

◎其の際山縣公は、今回の事件は政局關係を離れ、社會の階級の確執、貧富の鬪爭、社會主義の奇行を意味すと爲し、而して之を助勢せるは浮薄なる富豪、驕奢淫逸なる成金輩なりとし政治問題を離れて之れが芟除を期せばならぬとの意味を洩したさうです。

◎公の考へ以上の如くなる以上、今回の事件は、必ず政治問題を離れて取扱はれる事と思はれます、政府に於ても忌憚無く言論無き爲めたゞ事件の性質眞相を一世に徹底理解させる手段無きは殘念です。

◎細民救濟を徹底的に

米價調節策として……

米高のため內地の形勢不穩を呈して以來朝鮮も各地を通じ廉賣米の施設あるが米價は依然として底强く稍もすれば

▲暴騰の氣勢 にあり此の原因に付某銀行家は日く米價の調節細民救濟と稱する米の賣出しも各地に行はるゝに拘らず米價の毫も軟調を呈せざるは何故なるかその一因として在米不足のため內地方面よりの鮮米買附絶えざる事も數へざる可らざるもその主因は鮮內消費米減ぜず寧ろ增進の傾向を呈するためにあらざる乎而して其の消費米の增進傾向は京城を初め各地に於て行はれつゝある廉賣米の細民救助方法が根本に於て誤れる故にあらずや予等も細民救濟のため極めて低價に食料品を

▲彼等に供給 する事は頗る必要事と信ずる一人なり然し乍らその食料品たるや下流社會に適當するものを時價より半減して供給すべし乃ち外米若くは粟の如きを大いに賣出すを良策とすべし何故に在拔き米若くは二等米の如きを十錢安に廉賣するや然する爲め不幸粟若くは鮮白の如き劣等米を食する者も敢安なるため一等米若くは二等米を用ふるに至る見樣によりては寧ろ刻下の白米廉賣は上等食料品の下流社會供給とも見られざるに非ず、或は日ん東拓の提供米は

▲一二等米 にして之れを賣らざれば能はざるなりと、然し乍ら東拓の提供米は會社に然るべく談じて時價に放賣しその代金を以て外米粟の如きを買立て賣出すも亦可とすべし限りに一歩を讓つて東拓米は現米を以て廉賣する外なしとせば東拓米の賣切後は鮮白の下等米を最上とし外米粟若くは瓜の如きを主として賣り出さん事を勸告す之れ細民救濟の主旨に適し眞に日常生活に困窮しつゝある者の外廉賣所に來らざるべく而して更に進んで米價の調節にも功なればなり然らずんば各方面より

▲巨額の寄附 を得て頗るその結果の曖昧を呈するの嫌ひなきか救濟會理事者の一考を促さざるを得ず

◎支那米輸入歡迎

唯困難なるは輸送問題

青木總督府農務課長談

支那江蘇省は防穀令を撤して今回日本の米を日本に向つて輸出する事を承諾したさうだが甚だ結構な事だと思ふ米は支那に於ける農産の主要物であるが支那の事だから正確な統計がある譯では無く産額は一寸判り難いがいろ〱の調査を綜合して見ると單に揚子江流域に於ける江蘇浙江安徽江西湖北湖南の六省丈でも邦貨

▲一億五千萬石 に上りまうと云ふ事である、江蘇一省のみでも三千萬石に達し南省は昔から支那の主要な米産地である『蘇湖熟せば天下足る』と云ふ俗諺もある位で支那人は又此の邊の米が最も品質が良好だと云つて居る尤も支那人の良しとする米と日本人が好む米とは全然異なつたもので日本の米を支那に持つて行つたからと云つて支那人は決して口に適ふ良い米だとは云はない江蘇産の米は矢張り蘭貢や西貢米に近い輕い味のもので日本米や朝鮮米とは趣きを異にしてゐる、南京は此の江蘇省にあるが南京米が江蘇米だと思ふ人もあるかも知れぬがそれとは異ふので南京米は

▲蘭貢西貢米を 云ふのであるが所謂南京商人の手に依つて最初日本へ輸入された關係上左樣な名稱が附せられたるに過ぎぬのであらう、私は江蘇浙江へは支那視察の際にも遂に足を踏入れず江蘇の米に就ては論議する資格を持たないが僅に四萬方哩の江蘇一省から三千萬石の米産があると云へば日本の內地年々の總産額に匹敵するもので支那人民六割が米食すると云はれて居る上から見ると多額の産過剩がある譯である、支那が此樣にでもなれば支那としても重要な輸出品として大に輸出するであらう際傳來の防穀令を解いて輸出する譯で利益する事は莫大なものであらうと思ふ、唯今回の百萬石輸出が事實として現はれるとしても輸送問題が

▲却々に容易な 事では無いあるまいと思はれる、假に六百噸積の船で一隻四千二百石、百隻で四十二萬石、百萬石を輸送するには二百三十八隻の船を使はねばならぬ之は實際容易な業ではない、勿論政府も端境期迄に百萬石全部を輸入し盡さうと云ふ目論見でもあるまいが斯樣な輸入の途を開くと云ふ事が既に日本の食料問題の前途に新しい解決の途が得られた譯で甚だ心强い次第である、唯恐るゝのは此の際彼の地の或種の排日思想を持つた者が愚民を煽動して自己の非望を遂げんとする好個の口實を得ると云ふ事であるが支那人も此の輸出が我も人も共に利益を

▲增進する意味 の輸出である事を了解し支那政府に於ても此の點誤解なき樣盡力せらるゝ事と信ずるから吾人の心配は寧ろ杞憂に過ぎぬかも知れぬ

◎釜山米問題協定

自發的發案

二十三日午後釜山穀物貿易商會合し今回の米價問題及び鮮米移出關係に就き協議し其の結果釜山穀物調節會を新たに組織し個々の取引を見合せ共同販賣により價格の亂高低を防ぎ鮮內の米價に變動を起さしむる事を協定せしこは既報の如くなるが右は全く同業者等の自發的發案に出でたるものにて若松府尹も此の議に多大の贊意を表し是非共之が實行を慫慂し便宜取計らふ旨を述べしやにて當局の命令とは認め難く又當局として斯かる命令を出すものに非ず當局者も今次の米價問題が甚だしく鮮內の人心を動搖せしめ打棄て置く可きに非ず當局の命令なくも當業者斯くある可き筈なり總督府の內命に依り云々は全く誤報なりと某氏は語れり（釜山）

人事消息

▲三村鐘三郎氏（農商務省技師林學博士）二十五日朝入京朝鮮ホテルへ

茶前酒後

◆內地米騷動も、最早終熄したるものゝ如し。今北の結果を見れば一般に謹慎を惧み、奢侈を禁ずるの風を誘致し、東京市內の如きは遊里の音曲絶え、料理商の店頭等も、昔日と一變し、顧客頗る稀也と、警哉。

◆山形市の如き、市有志市役所に集會、爾今餘儀なき宴會に限り、冷酒に鯣丈を用ふるに決議し、普通宴會は殆ど開催せざるの申合せをなしたり。

◆然るに同市一病院が、病院擴張の祝意を表する爲、市有志を招待し、盛宴を張るや、來會者一同大に憤慨し、何れも席を蹴つて去り、爾來同病院の不評判は、絶頂に達したりと。流石は鷹山公の遺風、今尚ほ殘存するかを思へば、洵に床しき限りにこそ。

◆元來今回の米騷動は、成金連の跋扈に對する、平生の反感なりし原因が米高計りに非ずして、成金の多かりし土地丈け、其の騷動の程度も、激しかりしに徵しても、此の事實を推察するに難からざるべし。朝鮮の小成金共も、能く此の點に注意せよ。

◆同じく金を遣ふにしても、生金遣ひと、死金遣ひとは、實に雲泥の差ありと、今更新しく論ずる程の愚者は、烏渡世間には珍らしからんも、其珍らしき者が、世間往々散在するに至つては、寧ろ慨然ならずや。賢明なるが如に見ゑて、賢明ならざる者の多きは、現世の事實也。

◆神戸の鈴木商店が、大枚五十萬圓の寄附金を投出したるは、生金の如くにして死金、賢明なるが如くにして、不賢明也。何故に鈴木は、最初に於て之を投ぜざるや彼は其燒打に逢ふ前に於て群衆代表者より、百萬圓の寄附申込に遇ひたり。然るに彼は僅に五萬圓より以上の出金を拒み、萬事は明朝迄に、解決せん事を代表者に告げたり、然るに燒打は明朝を待たずして、其夜即刻に決行されたりと。

◆而して各地に於る、彼の損害や、實に百萬圓にては、足らざる也。之即ち、一文惜みの百失ひの好標本ならずや。

◆斯く云へばとて、吾人は唯鈴木を冷笑するのみに非ず、世には賢明の如くに見ゑて、此種の行爲に出づる者多きが故に、茲に一言するのみ。賢明の諸君、以て他山の石とするに足らん。

女子の本分

▲料理の出來ぬは女の損
▲禮法を知らぬは女の耻

壹ケ年分の讀者にパン製造法を無代進呈

女子の本分は婦道を守り家事に專らなるにあり。茶の湯、生花等の心得も必要ならんが、更に肝要なるは、料理を研究して、日々の食事を安價に美味に滋養あらしむると共に、禮儀作法を修得して、婦道に缺くる點無き樣に努むるにあり。

◆板垣伯爵夫人 は夙に東京割烹講習會を設立し、毎月『家庭料理講義錄』を發行し、坐ながらにして兩道に通じ得る便宜を計りつゝあれば今其內容の大略を紹介せん。

■入會の手續 同會は目下會員の大募集中なれば、今が入會の好機なり。入會手續は簡單で、ハガキに『講義錄送れ』と書いて申込めば、直に會員として、毎月講義錄を配付す。

■會費と割引 會費は一ケ月金四十錢。前金申込は三ケ月金壹圓十五錢。六ケ月金貳圓貳十錢。一ケ年金四圓貳十錢に割引す。

■送金の便法 同會は送金を面倒と思ふ方に對しては、郵便の便法あり。此便法は入會を申込めば直に一冊を送本し、同時に二ケ月分の會費(手數料共金八十五錢)を其地の郵便局の手を經て集金し、次號は翌月送本し、爾後は二ケ月目毎に二ケ月分宛の會費を集金に行く故、送金上何の手數無し。

◆日本料理科 ▲飯料理▲日々の献立▲即席料理▲晩酌料理▲式料理▲本膳料理▲惣菜料理▲會席料理

◆西洋料理科 ▲正賀及略式の献立▲歐米各國料理▲一品料理等一切網羅す。

◆支那料理 本項には支那料理を詳細に講義す。

◆和洋菓子科 實用向の和洋菓子一切を懇切に説明す。

◆禮儀作法科 日本禮式及西洋禮式一切を講義し、簡易禮式法日本食禮法西洋食卓法をも説く。

■實益と趣味 其他年中行事▲漬物▲料物▲通俗化學▲名士の講話等毎號掲載しあれば眞に實益と趣味とを具備せる婦人必讀の講義錄なり

■夏期の涼味 同講義錄の貴ぶ可き特長は毎號季節物を材料とせる料理を滿載せる事にて八月號には▲月見料理▲凉しい鶏卵料理▲あらい料理▲サラド料理▲夏向の日本菓子▲凉しい西洋菓子▲里芋、冬瓜、胡瓜の料理等珍しい凉しさうな料理を滿載しあれば食慾の減退せる夏期の食膳に直に應用し得べし

■大特典有り 此際の入會者には、入會金を免除し『料理必攜』を進呈する外、會費六個月分前納者に『家庭寶典』を呈し、會費一ケ年分前納者には左の廣告の『パン製造法』及『記念メダル』を呈す。

■其他の大特典 此際一ケ年分の會費を前納せる會員には右の特典の外に本會出版の圖書を永久に三割引にて購買する特典を與へ、又附屬割烹學校に一ケ月間無月謝にて講習生たる特典を與ふ

◆見本無代進呈 見本入用の方へは無代進呈す

東京本郷お茶の水
株式會社 東京割烹講習會
振替口座東京一九四一〇番

最新パン製造法

定價六十錢　送料八錢

パンが衛生的優良食品たる何人も認むる所。本書は多年海外にてパン製造法を研究せる斯界の大家田邊玄平先生が特に本會の爲に執筆せられたるものにて、田尻博士及諸大家の推賞を受けし名著也▲白パン▲黒パン▲小形食パン▲菓子パン▲重燒パン▲蒸パン▲玄米パン▲膨脹用のパン等有ゆるパンの製造法を親切に詳述しあれば、本書を一讀せば何人も直ちに各種パンを製造し得べく、營業家は固より一般家庭の人々、脚氣病患者等には有益缺くべからざるものにて、出版以來好評嘖々

乾燥パン種

東京本郷御茶の水

七個入一袋　定價三拾錢
送料　內地二錢、鮮土三十錢

東京割烹講習會
振替口座東京一九四一〇番

◇聖上陛下へ最高勳章御贈進の伊國皇帝

◎兩陛下外鮮米を聞し食さる

『誠に結構であつた』との御言葉を賜りたりと申す

東京市より獻上せる鮮米、外米は直ちに御嘉納ありたる事既報の如くなるが漏れ承はる所によれば　兩陛下には深き思召を以て廿三日御晝餐に調理の上差出せよとの御諚あり　大膳寮では洋食として差上げたるに『誠に結構であつた』との御言葉を賜はりたりと申す又市にては宮内省に獻上と同時に首相始め各大臣、濟生會長徳川公、中央慈善協會長澁澤男等にも外鮮米三升づつを配布したるが宮内大臣よりは非常に美味なりとの挨拶ありたり（東京）

殺商が平時に於ても米穀の低落を喜ばず兎角騰貴を歡迎するの風あり常に一般人民の利害と相反するものあり殊に最近其價格騰貴に際するや同商人中在米を擁し容易に之を販賣せず法外なる高價を以て販賣せしものあり之等の

◇◇怨恨が原因◇◇

こなりしは爭はれざる所也政治的色彩は極めて薄く二三市會議員等が勢力擴張のため利用したるものもありしが官衙に對して暴行を加へしは福井縣廳のみ危險思想の徘徊にして煽動を試みんとしたる形跡なきにしもあらざるも短時日のため乘ずべき間隙はなかりしもの、如し暴動一度勃發して米價の騰貴こなり富者の寄附醵金こなりしが暴動は最初より計畫ある運完を存するものにあらざるを以て恰

◇◇流行性感冒◇◇

の如く各地何れも四五日にして鎭靜に歸せるは殆んど其の軌を一にせりたゞ神戸市のみ鈴木商店を燒拂ひ次に神戸製鋼所に放火しこを烏有に歸せしめたる等頗る組織的計畫を有するもの、如く全く他と類を異にせるは解釋に苦るしむ所なり各地暴動中最も激甚を極めしは神戸市にして範圍の廣汎に亘れるは大阪市なり京都名古屋二市の如きは一時喧傳せられたる割合に暴行も比較的手柔かにして要するに米穀商をして廉賣を強制せしめたる位に過ぎず其他各地大同小異なるが呉市に於る職工の騷行は、猛烈なるが如し暴動に闘して

◇◇各地方長官◇◇

の執りたる態度に就いて見るに東京大阪京都名古屋神戸の五大都市が悉く暴動の演ぜられざるはなきに獨り有吉神奈川縣知事が管下に不穩の形勢高かりしに拘らずよく之を豫防して殆ど事なからしめしは最も大出來こいふべく井上東京府知事が率先して救護に努めしは發殺の下をして騷擾に陷らしめざりし一因たるべし清野兵庫縣知事の態度が甚だ不熟心なるが如く傳へられたるもコハ

◇◇全く誤解に◇◇

して同知事は三日三夜全く縣廳に起臥し吏員を指揮して一方暴動の鎭壓に努むると共に病臥中の鹿島神戸市長に代りて救護の方法を講ずる等苦心精勵同情すべきものあり斯くの如き猛烈なる暴動を惹起するに至りしは縣保安課長落馬失神して直接の指揮を失ひたると軍隊の輸送に時間を要せし等も其の原因の一部分たるべし

□伊國皇帝より我聖上陛下へ最高勳章御贈進

特派使節、來月上旬來朝せん

伊太利皇帝は我　聖上陛下に最高勳章アシチンムナヤード、ダイヤモンド入頸飾章捧呈の爲め使節差遣の御沙汰あり使節は陸軍將校ヒユーゴー、マルユニー氏にて來月上旬横濱着の豫定也（東京）

◎遣伊飛行將校監督官は

玉置工兵中佐

◇…出發は九月中か

伊太利政府の要求に依り我陸軍飛行將校約二十名並に飛行機製作に熟達した職工數十名合して約百名を派遣することに内定し、今にも派遣人員の

★發表を見るに至るであらうと云ふことは、屢々本紙に報道した通りである、然るに極東西伯利の戰雲急を告げてチエツク軍救援の爲め、軍隊を浦鹽に派遣するに至つたので、飛行將校の伊國派遣は中止するかも知れぬこの說をなす者もあつたが、一旦聯國の一つである伊國の要求に應ずるこ約したのであるから、極東に於ける時局が如何に擴大するこも、豫定の如く

★派遣す るに至るであらうこのことである、此の一團の統率は大佐級の者で參謀本部にて人選の上、愈々陸軍砲工學校教官工兵中佐玉置美之助氏に内定し不日發表を見るに至るこのことである玉置中佐は長く獨佛二國に派遣されて頗る外國の事情に通じ至つて頭腦が緻密な上、決斷にも富み、監督官こしては至極の

★適任者 であるこのことである、又飛行將校は時局前に岡騎兵大尉を筆頭に約二十名内定したのであつたが、今後多少の變更を見るに至るであらうとのことで、之れも不日發表されることの事である出發期日は未定だが或は九月中かとの話もあるから、我が派遣飛行將校が伊墺國境の天界に活躍するのも決して遠きことでない

◎馬賊跳梁す

民兵と交戰

八月二十一日午後一時頃銃器其他の兇器を携へたる頭目双仁福以下二十九名國境臨江縣大洋岔に現はれ支那人玉海山方にて飲食を強請したる上立ち去り途中七道溝に於て民兵九名と交戰したるが民兵は衆寡敵せず銃一挺を遺棄して敗走せり馬賊は其銃器を拾ひ同夜附近の支那人方に一泊し翌朝悠々と引揚げたり其他兇器を携へたる別の一隊十八名も七道溝より六里離れたる支那人孫文德方に侵入し家人を脅迫し現金三十圓を掠奪逃亡せりと

◎敵の根據地を衝くのも瞬く間だ

★カルムイコフ枝隊の兵力は　敵は二萬以上も居る

ヴエーラ河畔の戰鬪狀況（號外所報）を齎して軍司令部に出來高級參謀を訪問すれば愈々始まつたね、電文に依ると、カルムイコフ枝隊がチエツク軍の左翼にあつて退却を開始したのでチエツク軍も

★退却の餘儀 なきに至つたらしいが、元來このカルムイコフ枝隊は隊長カルムイコフがセミヨノフと同じ目的の下にウスリーコサツクの各兵村から募集した者で目下の兵力は騎兵二個中隊馬が無いため止むなく歩兵とした のが一個中隊工兵一小隊機關銃隊一中隊大砲一門位で一時チ軍と共同動作を取る可く交渉したがチ軍に

★跳ね付け られた事もあつた其後妥協して專らハバロフスク方面に向つて敵を驅逐しつゝあつたが何分同方面には約千餘名の獨墺俘虜將校に依つて指揮されつゝある戰場生殘りの俘虜及び赤衛軍が約二萬以上もあるから、微力な反過激派軍が一敗地に塗れたのも無理はあるまい、併し日本軍を主力とした聯合軍が兵力を大いに集中して當れば

★敵を撃攘 してハバロフスクの根據地を衝くのも瞬く間であらう敵の武器は種々雜多で毫も統一が取れてないし、果して獨逸から補給して居るや否やさへ判明しないので頗る劣等なものであらうと思はれて居るが兎に角百個師團もあつた軍隊が武器を渡されたま、解散したのだから持久戰には堪へられないとしても當分の間は餘り見縊びられまいと思ふ

□皇后陛下 又も鮮米を差出せと御諚

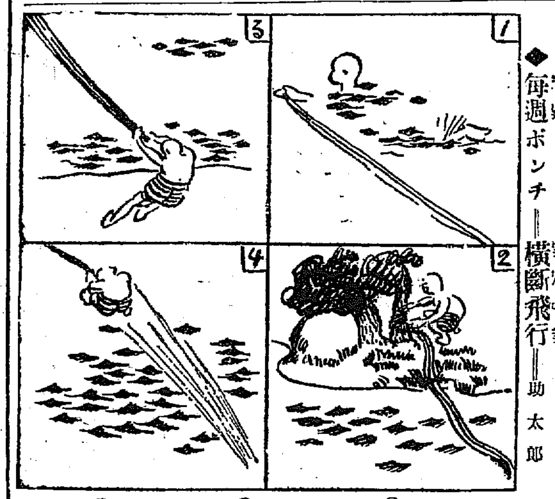
皇后陛下には廿四日又復鮮米三升を獻上すべき旨東京府に御下命あり當事者は齋戒沐浴の上木綿袋に納め獻上し奉れり（東京特電）

◎今度の米騷動 成金跋扈の反感も動機

△内務省特派監察官の報告▽

騷擾の原因が食料殊に米價の昂騰に依るはいふまでもなけれど近來豪華中所謂成金輩の豪奢跋扈が著るしく世人の反感を買ひ居りし所米價の暴騰を動機として勃發したるは顯著にして神戸に於る暴動の最も激烈なりしに徵し得べし又米

◆毎週ポンチ—横斷飛行—助太郎



（一）毎日々々西氷庫の水泳にも厭きが來た西君氏間飛行家の開發連絡飛行が擧行せられないのに憤慨して乃公一つ漢江横斷飛行を決行して一同を驚かしてやらうと早速用意に取掛つた

（二）先づ彈力の強い數條のゴム系を持つてざんぶと許り西氷庫の對岸目掛けて河に飛び込んだ岸に到着するや早速用意のゴム系を手近の木に括りつけて今度は其一端を體に括つて西氷庫に歸つて來た

（三）水泳場に集つて居る友達を狩り集めてヨイシヨ〳〵と其ゴムが切れぬ程度に引張つてもらつた西君失敗しては一生の恥と其ゴムで堅く體を括りながら一二三の號令で皆の手を離してもらつた

（四）ゴムは非常の勢で跳ね返した西君は河の中空で得意の宙返りを一回して無事著陸乃公の御手並はざんなものだと大きい目をくりくり

緩衝機

（投書歡迎）

遲いものは—　紅天狗

◆遲かりし由良之助！」と昔から遲れ走せのものは由良之助だけと相場が決つてゐたが、世が段々開けると色々のものが抬頭しかけて來る。◆電報と言ふものは速いものであると思つてゐたものが、世が進むにつれて次第に遲くなつて來るのは又如何したものか『電信』と『鐵道』と小荷物と東京から仙臺まで競走して、小荷物が先に屆いてから電報が來たといふ間の拔けた話さへある『イサイフミ』の文が先に屆いたなどは珍らしくない。然も安からぬ電報料は取られ放し」と東京、日にいくてあつた。朝鮮でも京城と仁川との間にこんな間の拔けた例が起つてゐるから呆れて仕舞ふ。まさか電報が郵便化（？）した譯でもあるまい

◆手遲れと言へば此の頃の農商務省のやり方も亦御多分に漏れない。御内帑金の御下賜があつてから漸つと一千萬圓を用ひた一結局この一千萬圓も指定商人に分配される事になりはすまいか。收用令が朝鮮には行はれないといふから安心だが◆農商務省は又朝鮮米の買上げを企圖してゐると傳へられるがマサカとも思はれる然し實現せぬとも限らぬ。

朝鮮米の良い事を知つて與れるのは難有いが、今の樣に廉買してさてゐる時にこんな事をやられた日には吾人は全くやり切れなくなる此際に移出禁止でもして貰はなくてはならないと紅天狗は思つてゐる。

中流民の願ひ　官吏生

◆現今救濟會といふものありて米の廉賣をなしつゝあるは世人の知る所なるが甚だ寒心の至りなり、見よ、廉米を買ふ人を。一升三十錢位の上米を買ふ能はざる者に非ざるなり。◆かゝる者日に二升或は幾度となく買ひて米をなして又騰貴せしめつゝあるなり救濟會の多大なる費用を見よ。然かして其の提獅さ銀行より人出で、光商より出で、警察より出で——

◆一般に米商をして低廉に賣らせしむる事能はずや、然からずんば罪なき米商を責むる無智者なしとも限らざるなり。◆如何となれば中流にして其の對面上廉米を買ふ能はず飢に泣く者多ければなり◆この多大なる費用を米商の不足金に補ひ一般に廉價にて米を賣らしむる方をさりては如何。こは内地にて已になしつゝあるか聞けり◆終りに臨み貴社に切望するは紙上に實地に米商をして一般に廉價ならしめ救濟會の金を中流民へも費用せしめられん事なり余の望みは一箇人の望む所にあらずして中流民の多く望む所なり。

◎浦鹽は米の山

出兵を見越した奸商
失敗して逆輸入を企つ

二十四日浦鹽より元山へ入港せる朝鮮郵船平安丸歸客の談に依れば目下浦鹽には日本米と外國米が山の如く堆積されてある、現在同地に居住中の内外人の食料こすれば今後優に二十箇年を支持することが出來る

右の内外米は日本の一二の奸商が早晩我邦より大軍を西伯利へ派遣するに至るであらうと豫想し昨年より本年に亙つて見越輸出をしたものであるが今回派遣の軍隊が意外に靜謐に思惑外れとなりしも一方内地に於ける米價暴騰の場合なれば此の際一部を日本に逆輸入せんと準備中であると

◎二度も修理した 古汽罐

石炭を焚過ぎたか

◇新義州椿林製材工場爆發原因◇

二十二日午前八時十分新義州椿林製材工場の汽罐爆破の慘事に就ては既電の如くなるが該工場は木下作一郎及び森村某氏の共同經營にして本年五月事業を開始したるものなるが今回爆破せし汽罐は川崎十一川鐵工所にて使用せしものを咸興南公州の外人經營の鑛山に使用し後京城中根鐵工所の手に移り同所にて修理を加へ昨年十二月迄沙里院に於て使用せし本年三月再び京城にて修理を加へたる上新義州の前記工場の開始と共に引取られ四十馬力にて運轉しゐたるもの也今回の爆破は其

▲附近で實見したる某氏の談によれば最初機關の止まりたる如き物音を聞くが否や轟然たる爆鳴響き忽ち木下製材工場の上空に濛々たる灰煙立ち上り木片其の邊へ飛散するを見たれば直ちに同工場に駈け付けたるも蒸氣と塵と灰の混じたるに標て面を向くべからず約三十分を經て漸く破壞せる工場及び其附近の慘憺たる光景を認むることを得たる如き有樣にて其如何に猛烈なりしかは破裂せる

▲汽罐の破片（重量五六十貫）が現場を距る三十間の鴨綠江中に飛び尙且つ尺五寸角位の原木を二本を折りたるにても察すべく同工場の東方十數間の處にある事務所の寄所の壁は全く破壞し盡され恰も食事中なりし同家の妻女及び子供は倒され隣機に飛ばされたりと云ふ尙地續きの工場なる荒木製材所は飛散せる煉瓦の破片にて事務所の屋根へ三箇所の穴を穿たれ北隣なる新築中の川上製材所は亞鉛葺の屋根全部

▲殆と蜂の巣の如く煉瓦の破片に破られ其他屋内幾ケ所となく損傷ありたる上雇人なる日本人一名、支那人二名重輕傷を負へり尙飛散せる煉瓦の破片は遠く新義州停車場附近に落下せるものあり又新義州府廳裏手を通行中なりし一支那人車夫の足を傷つけたるもあり而して既電の負傷者は宇佐病院及び新義州病院に收容したるが爆破の原因は種々に沙汰するも要するに古き汽罐なる上据付に際して地均しの不完全なりし事及び同工場にて機械を取扱ふに專門の

▲技術者なく 殊に當日はメートルに構はず石炭を焚き過ぎたる形跡ありて畢竟するに夫等の爲に此の椿事を惹き起したるものならんと（新義州）

◎大出水

▲大阪府下 二十日以來の豪雨にて大阪府下三島郡内各川增水し茨木川は大字畑田にて堤防決潰せし爲め茨木町は浸水家屋五百戸に及べり（大阪特電）

▲岐阜地方 も大豪雨にて二十三日長良川の增水十六尺に達し岐阜市の浸水家屋百戸に及び縣道飛驒街道の橋梁陷落せるもの多數あり川添ひの村落は警鐘を鳴らし村民の非常召集を爲し警戒せり（岐阜特電）

◎釜山港民は公園へ集まれ

…怪しな不穩な紙片を撒いた男は直ぐに自首して出た…

米價の暴騰については内地は三府一道三十縣の多きに渉つて米騷ぎが起つたが朝鮮は案外靜かであつたが釜山に廿三日の午後突然何者の所爲か『釜山港民は大正公園へ集まり來れ』と記した紙片れを配付した者があつたので釜山警察署では直ちに非常警戒をなし夫々捜索を進むる一方官私服の警官を派し大正公園内外の警戒をなしたるが公園では何事もなく引上げたるところ深夜に及び釜山署に自首し出でたる者あり取調の結果右は本町一丁目下駄職岡田乙吉（三九）と云ふ者にて同人は前記のチラシを撒布したる後大正公園に赴き人の集り來るを待受けんと何喰はぬ顔にてベンチに休息中遂に眠りを催し熟睡して了ひ目を醒ましたる頃は既に午前一時を過ぎ誰一人居らざるより斯くは自首し出でたるものこ判明直ちに留置二十日間の拘留に處せられたり（釜山支局）

◎木浦の鮮人群衆 米屋を襲ふ

事無く解散す

去る廿二日夜百餘名の工夫らしき鮮人木浦南橋洞米小賣商白在玉方を襲ひ何故に汝の店は米を高く賣るかと叫び、危や不穩の舉動に及ばんとせしも豫て警戒中の木浦警察署の警官に追拂はれ幸ひに無事なるを得たるが時節柄府に於て窮困者を調査せしに鮮人にて百數十戸内地人にて二十餘戸位ある由（木浦）

◎京城神社祈願祭

本日、嚴肅に執行
宇佐美長官以下多數參拜

京城神社に於ては二十五日午前十時より本報の如く平和克復軍隊健全を祈願する爲め臨時祭典を執行せり此日空快く晴れて清爽言はんかたなし定刻となるや齋主以下全員淨服に身を清めて式場に參進齋主進みて靜かに御扉を開き嚴なる奏樂裡に十數の神饌を供しつて祝詞の奏上あり夫より平和克復軍隊安全の祈願に移り再び祝詞を奏上し玉串奉獻の儀あり斯くて十一時三十分奏樂裡に神饌を撤し終典を終りたるが當日は長谷川總督代理村田武官宇佐美内務部長内野第四十旅團長總督府各高等官李堈公李鍝公兩殿下代理等を首めこし氏子總代出征軍人家族の參拜ありたり

◎山室大佐延期

（讀賣）

視察の爲め卅一日夜入京の筈なりし救世軍山室大佐は都合により入京延期し來月十二日着京十四日退京の豫定なりと

◎臨時掃除は浸水家屋だけ

二十六日から實施される京城市中の臨時大淸潔法は先頃豪雨の爲浸水した家だけは强制的に實行させ其他の部分に對しては任意にやらせるものである然し九月中の定期秋季大淸潔法は一齊に施行する事になつてゐると警察官は語つた

▲李王職では當分次官が盲腸炎で一時は不起であつたが昨今では經過よく遠からず出勤する事が出來るだらうと言つてるが醫師の勸告に從つて面會は絶體に謝絶中▲庶務課長は嚴父危篤の報に接して神奈川縣の郷里に行つたが二十五六日頃には歸京すべく▲末松課長も嚴父が福岡病院に入院中の爲め休暇を利用して二週間の豫定で二十六日頃出發するとか▲後に殘つてるのは印刷局庶務課長武藤祭祀課長近藤會計課長など何れも揃つて頑健黨だが思ひ内憂外患交々至つては遣切れぬと零してゐる

◎堤防決潰

の有樣なるが依然二十五日午前七時三十分新昇の浦潮に堤防中約三…

◎仁川救濟會

△販賣石數 二十三日の仁川救濟會販賣石數は二十七石一斗…

◇各地の白米

米價騰貴の折柄赤要本部の職員外米混食を實行することに取り極め…

天氣　晴

（二十五日午後六時より二十六日午後六時迄）
▲八月二十六日…

演藝案内

本町五丁目　稻荷座
浪界壯年家寺桃中軒雲太郎一座　今回各地にて大好評を博したる浪界壯年家の花々しく開演す　廿二日より…

本町三丁目　壽座
電話五七八番
當る八月廿四日より一週間毎夜七時開演
大阪三エス商會巡業部
▲▲憶悲壯歐洲大戰亂
▲戀か義務か　全三巻
▲火中の美人　全四巻
辯士　岩崎曉風　林嵐　藤野天風　狂葉　伯洲

黄金館
電話（晝間）二二六六（夜間）二二六七
▲新派悲劇『母の涙』劇　全三巻
▲源平盛衰記　景清鐚引き
▲猛炎　全五巻

有樂館
早川演藝部直營　活動寫眞常設館
電話（落し五八七番）
◎大喜劇拳鬪家　全五巻
◎淸谷情活森の女神　全三巻
◎歸士喜劇燒かぬ嫁　全三場
◎夢幻劇　力　全五巻

本町一丁目　壽館
電話一〇五〇
當る八月廿五日（第十三回）毎夜六時より
前狂言　大工の與花一輪五重塔
切狂言　阿波の鳴門ごんごろ大師

櫻井町　大正館
電話八七三
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
▲米國キーストン會社傑作　寶寫冬の自然
▲喜活劇『安全第一』五千呎
▲新派悲劇『霧の雨』全四巻
▲米國ヴァイタグラフ會社特作品　連續大活劇『秘密の王國』
▲舊劇『出雲怪談』全三巻

明治町一丁目　浪花館
電話二六〇番
八月十四日より開演　東京大阪合同落語大一座

◎移轉御披露◎
弊店儀今回旭町壹丁目に移轉致候…

御料理　會席　梅花
京城旭町一丁目　太陽組車帳場向
電話三四八番

◎朝鮮名物◎　金剛飴
京城本町二丁目　龜屋

一貫社の　禁煙パイプ
東京神田淡路町三ノ四

花柳病外科專門
梅毒・麻病・泌尿生殖器病・痔丸病・肛門病・皮膚病・婦人病・神經衰弱
京城南大門通　同生堂醫院
606

しもやけ…
くだりはらの…

◎數十戸に浸水

仁川花平里松峴里の中間にある海岸の堤防約百間は兩三日の大潮に殆んご海水堤防上を洗はんごする花平里の一部鮮人家屋約十戸に浸水干潮を待つて應急の修理を行ひつゝあるが一兩日中には完全に復舊するを得べし

[illegible]

其後の寄附申込者は五百圓南滿洲鐵道京城管理局一百圓五百圓アツギンソン等にして二十五日正午締切には三萬四千百卅六圓に達せり

[illegible]の二十一石三斗八升麥六斗外米三十三石八斗二升粟二石三升に達し團體申込みの數量は日一日に增加せり

◎擧つて外米を食ふ事にした

馬山　變斷なく廿四日ご同館[illegible]職員に同外米試食會を催したり鮮米六分に外米四分の割合を以て食膳に供したりしも何等臭氣なく粘り强く味は良くして意外にも一同[illegible]

豫報　時　曇

京城測候所（八月二十五日正午）攝氏　八十九度二分　三十一度七分　前日最高溫度　攝氏　八十三度七分　二十八度七分

元山の一日
◈危い哉、沙上の樓閣
棚から牡丹餅は落ちて來ぬ

伊勢は津で持つ津は伊勢で持つて我元山は大豆ご牛ご明太魚で持てゐる、元山から大豆ご牛ご明太魚ごを引去つたら後には何が殘る恐らく何にも殘るまい。元山では夫程大豆ご牛ご明太魚こが重きをなして居る、謂は〃是等は元山の生命ごも云ふべきものだ。

從つて、其出盛りにはステーションヨン、海岸、街――悉く大豆ご牛ご明太魚で埋もり却々の活氣を呈するご云ふ事だが、生憎、昨今は大豆も明太魚も端境期ごあつて斯る盛觀は見る由もなく、漸く牛に依つて僅に命脈を保つて居るご云ふ始末………。

街はヒツソリ閑ごして、白日の寂しさが一層犇々ご身に迫る。

軈て新秋、涼しい風が吹き初めるご黄金色なす大豆も出やう、次いで間もなく明太魚も廻つて來るだらうが。然し『米の群山』の…『棉花の木浦』に對する大豆の元山、明太魚の元山は餘りに時季が短い、之加に産額も遙かに尠く自然土地の財界を潤す度合も淺いこやら。元山が隨分開けた處であり、內地人奮闘史の最初の夏を飾つた土地であるにも拘らず、格別目醒ましい發展も見せず雛に小さく固まつて、何處か斯う御隱居染て居るのは外にも種々原因はあらうが、肝腎の特産物が尠い、時季が短いご云ふ事も確に其一原因を爲して居るのではあるまいか。門外漢の當て推量、當つたらお慰み間違つたら御吏のお慰み」東西、東――西………。

多年の懸案だつた日本海橫斷航路は、今年の四月から開航して居る。每航殆んご滿腹、成績は先づ好い方だ相なが、然し、今の處ドチラかご云ふご元山人士が此航路を進んで利用して居るのではなくて、却つて、反對に利用されてるやうな傾きがある。何故つて彼の小つほけな平壤丸が月に三四回往復する丈けだのに、最う元山では精一杯の態體くだらう。『渺くも千噸級の汽船は就航させる』心算が平壤丸で辛棒するなんざあ、餘り心細くて目から鼻水が出る。鳥渡申し上げますが、平壤丸でも朝郵は矢張三萬圓頂戴するのですよ。

こは云ふもの〃是は特産物の尠い元山こしては無理もない話し。だから元山の人は一樣に『今に平元鐵道が出來たら……』ご首を長くして其敷設を待つて居る。『今に平元鐵道が出來たら……』。是は實に元山人士の前途に横たはる一道の光明である。

『平元線開通し曉は平元沿線の貨物は勿論、少くごも北滿洲の大豆や大豆粕は悉く元山に吸集する事が出來るだらう、斯うなれば最う占めたもので元山の繁榮期して待つべしだ』

是が元山人士の所謂『今に平元鐵道が出來たら』ご云ふ所以である一應尤のやうだが然し、夫には又夫だけの奮闘ご努力こを要する譯て待つて果報が來たのは昔のこご今では棚から牡丹餅は落ちて來ぬ相な。徒らに空中樓閣を夢みて、頼みにならぬ賴みを賴みに（あ、面倒臭い）して居るこ、滿洲のチヤンコロ大豆がベカッコーをするかも知れぬ。其時は素屁太女郎に振られたよりも尚恰好の惡い話、故に、元山人士たるもの、今から折角褌を固く締て置く必要があらう。

何？、俺のは越中だご、夫ぢや締も惡からうが第一緣起も好くない。昔から、男の褌は六尺ごきまつたものだ、早速其奴ご締替へる好から。

◎油の代りに石炭の粉

◇◇石炭の選擇◇◇

粉末石炭こして最も燃燒に適せるものは二十八％より少からざる揮發性を帶ぶる瓦斯石炭なり、若しは揮發性の多き程に燃燒盛んなれば又白熱を起すは勿論なり、反之し揮發性少き無煙炭は白熱力に乏しきを以て特に白熱を起す狀態に置くに非ざれば燃燒せず恰も木炭の粉末に等しきものなり、凡そ石炭中に含有する灰の分量は窯中に於ける成績に大關係あり之は灰の粉末は沈澱槽內に沈澱せしむるもポートランドセメント工場に於ては灰を生石灰中に混和する爲めセメントの成分を低下せしむることあり然れごも灰分多き石炭を使用したりこて決してセメントの品質を損するが如き虞なし他の工場に於ては灰分多き石炭は爐中に鎔滓堆積するを以て製品を不純ならしむる媒介を爲すことあり

◇◇石灰中に硫黄◇◇

の含有せらる、ことは其使用目的に依て一概に可否の斷定を下し難し假へば粉炭が稀薄なる空氣中に於て燃燒せらるゝ場合には硫黄の一部分は少量の酸素に依り燃燒せられ他の一部分は熾熱狀態に於いて窯を通過す此熾熱狀態の硫黄は全く酸化せられ燃解せられたる全滷こ結合することなし更に或る場合に於ては氣流を盗る時は石炭は爐中に於て燃燒を止めコークスこなる此のコークスより硫黄を吸收する時は種々の障害を起す事あり

◇◇最良の方法と◇◇

しては大氣中に於いて石炭を十分に燃燒せしめ白熱されたる瓦斯の火焰を爐の壁に少しく間隔をおき接觸せしむるにあり更に一法こしては粉末石炭を極めて微細なる粉末こなすこごなり然るこきは石炭は極めて能く白熱し十分に空氣ご混合して殆んご瓦斯體の狀態に於て消費せらる此の如き態に適應せしむ可き粉末は百の網目の篩を九十％の割合にて通過する程度のものならざる可からず

◇◇濕度の割合は◇◇

は一％の〇、七五を越ゆべからず粉末石炭にして高き濕度を帶るものは工業用窯に於ては能く燃燒する、安全の方法こしては乾燥せる石炭を粉碎して使用するを良こす粉炭を貯藏するには濕氣を呼び易きを以て地上に置くべからず乾燥粉末炭の或る量を輸途ハ貯藏箱中に藏置したるに非常に

◇◇濕氣を吸收し◇◇

飼隣より水の漏るを見たるこごありされご餘り高き處又は蒸氣の通ずるが如き場所に置くべからず多量の粉炭は覆蓋を爲し決して二十四時間以上周圍を大氣に暴露し又はこれを動搖せしむべからず更に又此の濕氣を帶たる粉炭は熔解爐中に吹き込まるゝも十分の用を爲さず濕氣を帶粘りたる塊は爐の中に入りて

◇◇コークスを作◇◇

る原因ごなり即ち焚口にコークス堆積するを以て火口雍塞するが故に屢々之が掃除を爲すの必要生ず又コークスの堆積する爲め急に通風路を妨げられ火は焚口に逆噴するここあり小なる熔解爐に於て殊に此弊ありこす

◎大同江に産する海綿の話

平壤高普教諭　土居寛暢氏談

（平壤公立高等普通學校教諭土居寛暢氏が平壤牡丹臺下の大同江底に産する海綿に就いて研究したる結果を聞くに左の如くである（平壤））

海綿こ云へば普通は海に許り産する物の樣に思はれるが淡水にも矢張海綿が産する此事に就ては已に內地でも三屬七種一變種即ち八種の淡水海綿のあることが發見せられたが平壤の大同江にも今では一屬一種一變種即ち二種類のものがある凡て海綿の體には一種特別を

◇◇針骨ご云ふ　小さい骨片があつてそれが無數に集合して海綿の骨骼を作り之れによつて其の種類を區別することが出來る即ち主に骨骼の質ご針骨の形ごによるので其の分類した一般を列記するご左の如くである

◇◇石灰海綿類　之れは骨骼は石灰質で針骨は單軸狀又は三叉狀又は四叉狀で石灰海綿ご云ふのがそれである

◇◇玻璃海綿類　に屬するものは骨骼は珪骨で針骨は六放射狀である、それには掃介海綿及び同穴海綿等がある

◇◇普通海綿類　には種類が多くあつて左の如くである

（イ）角質海綿類　こ云ふ類は骨骼は角質の纖維が網狀をしてゐるので浴用海綿及馬海綿などがこれで即ち一般に使用せられてゐるものがそれである

（ロ）珪角海綿類　は骨格が雜質で針骨は單軸狀を成し多少角質の物で連結ぜられてゐるもので即ち淡水海綿は之れに屬するので其他に富士海綿及びかミヘチマなどがある

（ハ）珪質海綿類　の骨格は珪質で針はこれ骨射狀である（こうなす）は即ち回放に屬するのである

（ニ）膠質海綿類　は體の中層は膠質で特別に針骨はない『ほりさるか』と云ふのが之に屬する

◇◇之が右の樣　に種々あるが之れによつて見るこ淡水海綿は普通海綿類の珪角海綿類に屬するここが知られる。さて大同江から採取された

◇◇淡水海綿を　調べて見るご之れにはエピダティア屬のミユーリミ云ふのごミユーレリ、ヤボニカご云ふ二種類がある而して前者には骨骼針骨には多數の突起があつて小針骨には突起がない後者の方には

◇◇骨骼針骨に　は突起がなくつて小針骨には多數の突起がある、それであるから此の二種類は針骨で明かに區別出來るのであるが只外觀的肉眼では容易に區別することは出來ないのである

◎緊張裡にも油斷大敵

◇露人にも支那人にも◇
◇氣を許るし過ぎるこ◇

滿洲の事情に通ぜる某氏曰く『何事に限らず物事は油斷を忌む油斷をすれば此處に必ず隙が出來不慮の失敗を招く事がある、軍隊の如きは殊に其油斷を戒めねばならぬ大敵を恐れず小敵を侮らずご云ふ事が兵法にもあるが此等も兵に油斷なからしむる爲めの戒語である我北方に向へる兵士の如きも此油斷に氣を付けねばならぬ如何こなれば相手が正確に織別する事の出來ない人種である、假令味方こして行動を共にすべき露國人の中にも或は

◇◇過激派分子が混て

居るかも知らぬ、又チェック軍に附隨した所の露國人の中にも不正分子を含んで居るかも知れぬ、これ油斷する事の出來ぬ原因である若し我軍にして油斷せば軍の行動が忽ち敵に知られる事は云ふまでもない敵に行動を知られるご云ふ事が軍に取つて一番不利の點である如何こなれば一日早く敵に行動を知られたれば忽ちこれが防備を施される只に防備のみなれば何等懸くにも恐れるにも及ばぬが

◇◇若し逆襲準備でも

されたならばそれこそ大變である北滿の如きは鐵道輸送を以て前進するこすれば甚だ乘ぜられ易い不利の點がある之れ油斷の出來ぬ次第である下層にある支那人の如きは金を以て自由にされる事があるから敵に買收されたならば如何なる惡事を働くかも知れぬ之等も油斷のならぬ點である、只

◇◇勇氣あるのみが

兵の道ではない其完全なる計畫の下に自己を損せず敵を制するこ云ふ事が最も緊要である、人家稀なる北滿には如何なる分子が如何なる場所に潛在するかも知れぬ油斷して皇國の武威を傷つける樣な失敗を招かない事を望む、轉ばぬ前に杖を用意して置く事は何事に限らず必要である、戰時氣分の緊張して居る間でもお互に愼重の態度を取るべく努むる事は國家安全の策ご信ずる』（奉天）

◎大同江岸の風光を背景にしたる

◇新作物の活動寫眞◇

平壤櫻座に於て興行中なる義士酒家一行男女合同劇は連日好景氣なるが各地巡業先にて其土地を背景こしてフヰルムを撮ることゝなし平壤に於て二十三日午前十時より牡丹臺、浮碧樓、乙密臺、玄武門、其他大同門及び停車場附近を主こし部內の主要なる所を映畫せしが變題は『鬼あざみ』ご題する新作にて其筋書は或る金滿家の息子に芳之助こいふものあり藝妓の菖枝こいふものご馴染を重ね多くの金を消費したるより父の怒りを受け一時出入の魚屋仁助宅に預けられ居りしが或日馴染の藝妓の處より手紙の來りたるを見れば其藝妓は支那人李康貞ご云ふ客に落籍さるゝ相談あれご聞より自分の好める男に非ざれば何こかして自分を落籍して呉れこの事に芳之助も驚き兎も角面會したきものご思へご仁助の監視嚴しきより煩悶し居たるが遂に意を決して仁助に懇願したる處それでは今一回丈け面會せよこの事に仁助の情を謝し早速菖枝の館に赴き一室にて二人が悲嘆し居れるを次の間にて酒を呑み居りし義賊の貞之助こいふものあり此話を立聞きして矢庭に室内に入り落籍すべき金は自分が揃へてやるから待てこの事に二人は非常に喜び後の禍こも知らず貞之助に賴みたるより貞之助は二人を待たせ置き酒家を出て暫くする內落籍すべき金を持來りて之を貸與へたるが何ぞ知らん其の金こいふは芳之助の實父を殺害して强奪し來れるものにて貞之助は夫れが爲逮捕せらるゝこいふ筋にて二十三日より上場し馴染多き土地を背景こせる事なれば每夜大入を占居れり因に右映畫中の俳優は由良之助、平右衛門、源藏、力彌、唯七等にして女優側には花子、美佐子、初子、富子、久子、藤子等なり（平壤）

◎關東都督府の始政十二週年

來る九月一日は關東都督府施政十二週年記念日に相當するを以て同日午前十時より都督府民政部樓上に於て記念式を擧行する筈なるが時局柄最も簡略に行はるべし（大連）

◎安東教育界

◇朝鮮人教育の現況　安東縣にて　一記者

安東普通學校は去る大正三年二月一日の開校にして當時は兒童も至つて渺かりし爲め安東小學校內の一室を借受け授業を續け來りたるが近來鮮人の定住するもの約三千人に上り就學兒童の數も亦漸次增加一方なるより昨年十一月七番通五丁目に一千二百坪の地を相し總工費約一萬圓を投じて校舍新築中の處此程漸く落成したるを以て去る二十一日より新校舍に移轉授業を開始せり同校舍は敎室百五十坪五合廊下及び附屬建物三十一坪にして四學級の編成なり猶本年度に於ては兒童益々增加の傾向あるより更に總工費九千四百圓を投じ一教室の增築及び校長舍宅兒童寄宿舍等を建設すべく其一部は既に工事に着手したりこ云ふ

◇內地人の補習學校

安東實業補修學校は安東尋常高等小學校內に創立し在敎科目は國語（二組）算術（二組）商業（一組）簿記（二組）英語（三組）支那語（三組）にして現在の在籍生徒は百四十四名あり授業料は期間五十錢なるが同校修了生にして成績優秀なるものは南滿洲工業學校所定の入學試驗に應ぜしめ入學する事を得るのみならず其入學者に對して一箇月金十四以下の學資を給與せらるゝ等の特典ある由（安東縣）

◎商銀ご倉庫

大連商業會議所は殘て今津十郎小澤太兵衛其他建築業者及び運送業者の重なる人々に依り計畫されつゝありし事は已に報道せし所なるが其後の消息を聞けば目下其の筋に於ても詮議中なりご云へば近く認可を得るに至るべし如何こなれば都督府の意嚮こしても近年大膨脹を來せる大連經濟界は尚ほ其基礎確實なる一銀行の設立を見るも何等差支なかるべき趨勢なるを以て近く認可を與ふる意嚮なりこ云ふ同銀行設立の人こなり發起一切の衝に當り別には現民政部長赤塚彌太郎氏支配頭取或は專務取締役は當分之を置かず營業上の重要事項は隨時重役會議に付し協議の上決定を爲すべき等にして尚ほ同銀行の營業所は民政署裏手今津氏の持家を改築し充當の豫定なりこ云ふ

◇◇倉庫會社　大連の相生氏を中心こして計畫されつゝある倉庫會社は資本金百萬圓の目論見にして滿鐵倉庫の料金引上げご共に一層世人の注意を惹き急速に計畫進捗しつゝあるが如し同會社は從來の起業會社を合併し夫等事業の引繼ぎをなすべき筈なりこの說あり右設立に關しては元埠頭次席佐治氏專ら推任し諸般の準備をなし出來得る限り最も大規模なる計畫をなすべく單に貨物の保管のみに止まらず大豆の乾燥等の設備をもなし模範的倉庫こして實現せしむべき企てなりこ（大連）

◎技術官急行

滿鐵沙河口工場設計課長武村清氏及び滿鐵保線課次席飯田耕一郎氏は二十日夜大連發急遽北行せるが聞く處に由れば我（此間十二字抹消）並に木下鐵道院運輸局長の一行に參加する筈なりご猶滿鐵會社にては東滿南部線方面にも多數の技術員を派出する筈なり（大連）

◎東拓ご北滿

曾て東拓會社は極力滿洲放資に努力し滿蒙開發に盡瘁しつゝある結果最近著るしき擴大を見七月末の貸出しの如きは五百九十二萬二千八百七十五圓餘にして內定貸出二百四十萬二千六十餘圓也ご云ふ之を前月に比し五十三萬千四百九十餘圓の增加にして尚ほ更に漸次擴張すべく努力しつゝあるを見るが如し從來閑却視され何等顧みる所なかりし北滿及び西伯利亞方面に向ひ新飛躍を試み曾て哈爾賓に於ては北滿電燈の實權を收め目下水道下水の經營事業を目論見つゝありご云ふ近く市街電氣軌道等の新事業にも當らんごする方針にして大々調査計畫中にあり又別に北滿に於ける森林事業等をも經營する計畫にして[illegible]及び數名の[illegible]は哈爾賓に滯在し各方面に人を派し調査を命じつゝあれば若し力放資すべくそれが研究に腐心し來大連支店長吉野氏も數次北方に來往し專ら北滿開拓に大努力を試みつゝあり（奉天）

◎安東縣にては救濟の要なし

米價暴騰に付內地は勿論朝鮮滿洲各地に於ても細民救濟の必要に迫まれ地方官憲及び富豪に於て夫々救濟方法講究中なるが安東縣に於ける下層民の狀況に付古藤安東警務署長の語る處如左

當縣警察署に於ては米價の昂騰が今日の如く甚だしからざる以前より相當の注意を拂ひ管內細民の生活狀態に付種々調査する處ありしが安東縣は元來米產地にあらずして日々需用の米殼は朝鮮內より供給を受け居るものなるを以て米殼相場の變動は朝鮮の集散地に左右せらるゝのみならず米穀商組合の如きも朝鮮地方の集散地の如く他より入れ込み來る商人の爲めに多數の買占めに逢ふ如き事なく爲めに自發的米價の昂騰を見るが如き事なきも官憲に於ては穀物商組合に對しては夫々好意的注意を加へ來りたるに同業者も亦之を諒ごし在米隱匿其の他の方法を以て米價の騰貴を幇助するが如き行爲ありしものなく殊に安東市の景氣は昨年來未曾有の活氣を呈し居り諸種の事業勃興し來りたるご同時に金融界も非常に順調なれば苟くも健康者にして勞働に堪ふるものならば相當の收入あり特殊の事情あるものにあらざる限りは生活難を感ずるが如き事なかるべし尤も一時米價も天井知らずの有樣なりし當時は多少危懼の念なきにあらず且つ十二分の注意を拂ひ居たるも[illegible]に於ては殆んご危險界を脫したるものご見て差支なかるべく隨つて現在に於ては米價暴騰に伴なふ細民救護に就ては何等の準備を爲し居らず（安東縣）

◎一家擧て奇禍

◇自動車に轢殺されし◇

既電の大連市會議員信濃町六十九號地紙、文具、煙、表具用品販賣及び貸家業堀內驛三郎（五）氏が一日午後五時頃播磨町本願寺幼稚園前にて滿鐵沙河口工場長の自動車に轢殺されたるが同日午後二時頃より大連民政署樓上に於て出征軍人留守宅慰問等の爲め在鄕軍人後援協議會あり堀內氏も同協議會に出席中午後三時頃過日來播磨町滿鐵分院に入院中の八歳になる

◇愛孫が危篤の報

ありたるを以て協議會の閉會を俟たず中座し同分院を訪ひ其の歸途前記播磨町本願寺幼稚園前電車停留所に於て九號電車に搭乘歸宅の目的にて佇立し居る處をヤマトホテル方面より疾走し來れる自動車は堀內氏の驚き避けんごする方向に突進し遂に轢き倒し堀內氏は其儘人事不省に陷りたるを附近の人々の手に由り中村病院に擔ぎ入兩三度注射を行ひたるも午後六時頃

◇遂に死亡したる

が一方變を聞きたる堀內氏の長女某は產褥にありしが父の危篤を聞き驚き中村病院に駈け付けしが既に縡切れしご聞き

◇長女は卒倒して

又危篤に陷りたり堀內氏を轢殺したる自動車は同日堀內氏ご同樣軍人後援會協議會に出席せる森工場長を迎への爲め沙河口工場より來れるものにて運轉手の外一人乘り居たる空車なり（大連）

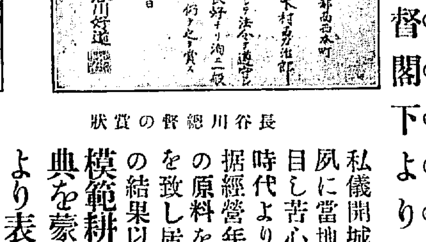
◎外米は不向で

◇大連販賣所遂に閉鎖◇

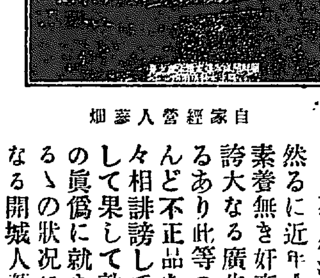
都督府が輸入したる外國米は旅順其他滿鐵沿線各地に於ては相當の成績を擧げたる模樣なるも大連に於ては曾に試食の爲め多少の買手ありしが其後益々賣行惡く一時販賣するに至るべしご（大連）

開城人蔘各種廉價發賣

◎總督閣下より受賞◎


京畿道開城郡松都面西本町　木村勇治郎
右者定植人蔘耕作者ニシテ法令ヲ遵守シ大正六年ノ耕作成績良好ナリ洵ニ一般耕作者ノ模範トスルニ足ル仍テ之ヲ賞ス
大正七年六月一日
朝鮮總督伯爵長谷川好道

長谷川總督の賞狀



自家經營人蔘畑

私儀開城在住以來既に二十有餘年夙に當地の特産品たる人蔘業に着目し苦心研鑽を重ね遠く韓國政府時代より政府の耕作免許を得て拮据經營年々政府の專賣品たる紅蔘の原料を納付し併せて白蔘の製造を致し居り候處多年苦心慘憺努力の結果以御蔭每年總督府より模範耕作者として授賞の恩典を蒙り今回又々總督閣下より表彰さるゝの光榮に浴し只管感泣罷在候次第に御座候然るに近年人蔘に就き何等の經驗素養無き奸商輩各地に簇出し徒に誇大なる廣告を弄して跳梁跋扈するあり此等の販賣に係るものは殆んど不正品を混交せざるは無く各々相誹謗して社會を欺瞞し諸彥をして果して孰れか開城人蔘なるやの眞僞に就き深く疑惑を抱かせらるゝの狀況にて斯くては遂に有名なる開城人蔘の眞價を失墜するなきを保せず誠に憂慮慨歎の至に不堪候依て不肖玆に顧みる處あり之等不正なる群小人蔘商の跋扈を防止し飽く迄眞正なる本場開城人蔘を江湖に提供し以て各位の疑惑と不安とを一掃し益々各位の健康と福祉を增進して社會に貢獻の爲め廣く白蔘發賣を開始致候條今後何卒陸續御用命仰付被下度奉懇願候

登錄商標　朝鮮總督府專賣紅蔘用人蔘耕作免許　開城白蔘各種製造卸商

開城西本町　木村勇治郎商店人蔘部　電話三八番　振替京城二二七七番

人蔘相場表は御申越次第御送可上候

秋蠶種

特價金六拾錢　送料弊社負擔

京城府龍山　東[illegible]

■模造品續出す御注意■

オキシパサー

定價金參拾九圓

發賣元　東京丸の內　大日本オキシパサー商會

滿鮮總代理店　京城本町　酒本高明商店

特約販賣　京城日報代理部

第百七十七席　塚原卜傳　悟道軒圓玉口演

娘を女房に持つて呉れろと言はれて驚いた件の武士　武『イヤ其れだけは御免蒙る、拙者はまだ女房を持つ身分でないから　老『ナニ錢はアなくたつて差支ねエ、お前樣の所へ聟子に來さつしやい、田地も少しはあるだよ食ふにや困らねエから……　武『まア勘辨して貰ひたい、拙者は女ご化物は嫌ひだから　老『アレ女ご化物ご一緒にする奴アねエもんだ、ごうしても嫌ひかね　武『其は御免蒙る時に老爺此乘鞍ヶ嶽の山中に塚原卜傳ごいふ人が閑居して居るこいふ事を承はつて來た者だが、その住居へ往く道を存じて居るならば教へて貰ひたい　老『アヽ塚原卜傳こいふ人は大した劍術の名人で此乘鞍ケ嶽に居なさるこいふ事は聞いて居るだがまだ俺ア往つた事はねエから住居は知らねエが、何でも木樵の話では笹田川の水上で大池の東に丘がある、其丘の蔭に住居があつてそれに住んで居なさるこいふ事を聞いたがお前樣そこへ往らつしやるのか　武『左樣……　老『それは止さつせへ危ねエだよ　武『何うして危ない　老『何うしてつて雪が降つて居るから熊が餌に困つてノソリ〳〵出て來る、土地の者や木樵は顏を見ても別に何にもしねへけれご旅の者ご見るご飛付いて喰ふだから危ねへよ　武『アハヽヽ熊如きに恐れて居ては道中は出來るものか、出て來たら退治て了ふから差支へない　老『冗談いつては不可ねへお前樣見たやうな弱々しいお武家樣に熊が退治られるものでねへ、まア命を玉なしにするだから止しなすつが悧巧だ　武『イヤ少し卜傳先生に御目に掛りたい事があるから登山いたすそれでは此笹田川に就いて登つて行けば宜しいのだな　老『エ、此川について行きさへすれば自然に大池へ行かれますだが坂道が中々難儀だが宜いかね　武『山道は馴れて居るから大丈夫だ、イヤ大きに厄介になつた茶代は之れへ差置くぞ　老『ハイ有難うございますぢやア、まア行つてごさらつしやい、歸りにはまたお寄んなすつて下せへまし　武『また厄介になる』ご右の武士は荷物を擔ぎ笠を被つて茶店を立出でるご一散に雪の中を川に從つて乘鞍ヶ嶽の阪途へご上つて行く、茶店の親爺は見送つて　老『ア、醉狂な人もあるものだ、此雪の中を山へ上らねへでも俺の所の聟子になりさへすれば火に焙つて暖かに子を喰つて寢て居られるだに、寒い目をするのは心からだ』ご歎息した、何を歎息するのだか判らない、右の武士は段々川に從つて上つて來るご途は次第に險岨しく相成り、羊腸たる坂途、雪は徐々降り頻り、朔風凛々こして肌に徹り山は玉を植たるごこく、林は銀を抹ふに似たり、三里ばかり漸々辿つて參るご林はすぎて向ふに見ゆるは乘鞍の大池、一面の藍布を擴げたるごこき大湖であります、湖上には白鷺飛び交ひ水面は銀波を動かして其風情はまた面白く、左の方に小高き丘の見ゑまするはこれぞ今の臥龍先生卜傳翁の住居なるかご右の武士は池の岸に立つてホツご一息吐いて足を休め、笠に積れる雪を拂つて居るご忽ち雪をサク〳〵ご踏んで此方へ近付く足音がする、右の武士は何者なるかご振返つて見るご之れ一匹の大熊でございます、穴に入つて居たのだが餌が無くなつたので探しに出て來た、人間の臭ひがするから段々近付いて來たので熊は仁獸でございますけれご腹が空れば人に喰付きますウオーツご唸るご前脚を上げ後脚で立つて右の武士を見るより飛附かんごする、さては老人の申したる熊が出たか、心得たりご笠を投捨一刀の柄へ手を掛る、途端にパツご飛び付いて來た大熊鞘を轉じて拔打にサツご切つた伎倆も美事刀も業物ご見ゑさしもの大熊身體眞二つごなつて打仆れ白雪を時ならぬ紅葉に染た。

皮膚科　徽毒科　專門　外科
京城太平通二丁目
扇田醫院
電話二三五八番

人蔘エキス
京城本町壹・電話一四八〇番 八七〇〇番
㋡ 津村兄弟商會

安東縣より　支局一記者

◆中野安東商業會議所會頭の談によれば、安東縣附近の各縣に於ては近來水田の開墾熱非常に勃興し支那人、日本人、朝鮮人によつて水田開墾、水利事業に熱中するもの頗る多く、この二三年間に於て米產額も非常に激增致し候由、米價の騰貴に伴なひ最も堅實なる放資事業として見られ、著々成功を見つゝあるは地方產業の爲甚だ喜ぶべきの現象ご存じ候。

◆某當業者の談片に依れば安東縣の木材市價は今猶大非知らずの有樣にて昂騰に昂騰を以てし殆ご底止する處を知らざる由、其原因は需要供給より來る自然の結果にあらずして、日本商人側にありては三井鈴木の兩支店支那人側にありては天津、上海方面に活躍しつゝある地方公司其他大資本家の思惑的買占に基因するものこの事に御座候、遮莫　大資本家の活動は恐ろしきもの、一つこして歎へらるべきものに候

暦

八月廿七日　九星　舊七月廿一日　丙午　木命六白　乾開　先負

▲六白　陰氣味の事有日落付て新事見合南方は吉▲七赤　効を顯す日轉居出旅入學名望求職建築金談特許出願等萬吉▲八白　思はぬ福徳を得る日萬事進んで大利有殊に女子の獨立業を計るに妙也▲九紫　拱され安き日新事手控舊事は吉女子は一層用心せらるべし▲一白　嘲りよき日轉居開業入學名望求職出漁金件婚約入組の和を計る等萬吉▲二黒　順調の日轉居旅行商入學名望求職出漁金件婚約縮用案等萬吉▲三碧　長し短しの事有日新事手控初事は吉衛生に注意せらるべし▲四綠　氣迷の事有る日新事手控舊事は吉萬円喚にせらるべし▲五黄　花の如き日轉居開業等皆吉女子の心美を盡くれ立身を爲す大に振ふべきの日也

處方を公開し責任を明かにせる本邦唯一の
◎ミツワ家庭藥

◎ミツワ健胃錠　三百錠　百錠　食慾減退、食物停滯、消化不良、噯氣、胃部膨滿、胃部壓重、胃部疼痛、惡心、嘔吐、胃加答兒、胃弱等。

◎ミツワ消化錠　百錠　三十錠　消化不良、食慾缺乏、過食、胃腸障害、榮養不良、病後衰弱等總て消化を促すべき場合。

◎ミツワ制酸錠　百五十錠　酒の惡醉、酒の過飲、宿醉、噯氣、呑酸、食慾缺乏、食物停滯、惡心、嘔吐、吐瀉、胃酸過多、急性胃加答兒等。

◎ミツワ緩下錠　四十錠　百廿錠　常習便祕、又胃腸病、腦病、神經病、心臟病、肺病等より來たる便祕其の他便祕一般。

◎ミツワ止瀉錠　六十錠　過度の飲食、不良の飲食、寢冷等より起る下痢、急性傳染病以外の諸病より起る一般の下痢。

◎ミツワ解毒錠　七十錠　過飲過食の場合、不良の飲食物を攝りたる場合、傳染病者に接したる場合、傳染病流行の場合等に胃腸を防腐殺菌し胃腸病を豫防す。

◎ミツワ驅蟲錠　六十錠　二十五錠　蛔蟲、蟯蟲等腸内に於ける寄生蟲を驅除せんごする場合、是等寄生蟲の腸内に寄生し居る疑ある場合。

◎ミツワ清涼劑　細容器入　口中の臭き場合、酒に醉ひたる場合、睡氣の場合、睡魔の襲ふ場合、倦怠疲勞の場合。

◎ミツワ解熱錠　三百錠　百錠　感冒、急性關節レウマチス、慢性關節レウマチス、筋肉レウマチス、頭痛、種々の神經痛、以上諸病に因る發熱及疼痛。

◎ミツワ鎭咳錠　百錠　喘息、百日咳、喉頭加答兒、氣管枝加答兒、肺結核、肋膜炎等總て呼吸器病の爲め咳嗽の出る場合。

◎ミツワ祛痰錠　百錠　喉頭加答兒、氣管枝加答兒、肺結核、肋膜炎、其他總て呼吸器病の爲め痰の出る場合。

◎ミツワ結核錠　百錠　肺結核、肺尖加答兒、氣管枝加答兒、肋膜炎、腹膜炎、腸結核、腺病、百日咳、其他總て結核性の病症。

◎ミツワ人參錠　五百錠　百錠　神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、逆上、眩暈、貧血、眼炎、榮養不良、貧血、精力減退、老衰。

◎ミツワ複方人參錠　五百錠　百錠　動脈硬化、腦溢血、脂肪心、心臟肥大、神經衰弱、ヒステリー、頭痛、腦頭痛、逆上、眩暈、腦貧血、腎臟炎、貧血、精力減退、老衰等。

◎ミツワ鎭靜錠　百錠　頭痛、頭重、逆上、眩暈、不眠、神經過敏、神經衰弱、神經性心悸亢進、ヒステリー、癲癇等。

◎ミツワ婦人湯藥　八十錠　血の道、月經不順、頭痛、逆上、眩暈、腰痛、下腹痛、白帶下、子宮内膜炎、子宮外膜炎、喇叭管炎、卵巢炎等。

◎ミツワ治淋藥　カプセル入五十個　急性淋疾、慢性淋疾、尿道口より排膿、放尿時疼痛、尿意頻數、膀胱炎、腎盂炎等。

◎ミツワ點眼液　一瓶　眼瞼腫脹、結膜發赤、結膜腫脹、結膜充血、涙液分泌亢進、羞明、眼痒、眼灼熱、眼疼痛、眼内異物感、急性結膜炎、トラホーム等。

◎ミツワ鼻病液　一瓶　鼻腔瘙痒、鼻腔乾燥、鼻汁過多、鼻粘膜腫脹、嗅覺減退、鼻加答兒、鼻充血、鼻出血、肥厚性鼻炎、臭鼻症、鼻茸等。

◎ミツワ含嗽錠　百五十錠　口腔粘膜腫脹、口内炎、口臭、咽頭疼痛、咽喉疼痛、咽頭加答兒、齒痛、齒齦炎、扁桃腺炎、熱性病等。

◎ミツワ齒痛液　一瓶　齲齒より起る疼痛、過熱過冷、又甘味の飲食物の爲に起る齒痛、其の他一般の齒痛。

◎ミツワ硼酸錠　百五十錠　逆上眼、流行性其他諸膜炎の如き眼病、口中の疾、婦人生殖器病、打撲傷、挫傷等。

◎ミツワ撤布藥　一盒　汗疹、手汗、足汗、多汗症、腋臭、表皮剝脫、皮膚糜爛、皮脂漏、疥瘡、蕁麻疹、濕疹。

◎ミツワ泥膏　一函　表皮剝脫、擦過傷、火傷、凍瘡、皮膚龜裂、皮膚糜爛、皮膚潰瘍、毛瘡、漆疹、かぶれ、濕疹。

◎ミツワ痤瘡膏　一函　痤瘡、皮脂漏、酒齄鼻、毛瘡、白癬、疥癬、粃糠疹、鬚瘡疹等。

◎ミツワ制痒膏　一函　皮膚瘙痒症、汗疹、水蟲、濕疹、蕁麻疹、火傷、凍傷、皮膚皸裂、汗疱、濕疹、癜風、疥癬、蟲類及魚類に刺されたる場合。

◎ミツワ頑癬膏　一函　頑癬、陰嚢癬、白癬、疥癬、濕疹、其他黴菌等の寄生に因て起る皮膚病

◎ミツワ凍瘡藥　一壺　凍傷、皮膚龜裂、皮膚皸裂、水蟲、其他瘙痒を伴ふ皮膚病。

◎ミツワ螫蟲液　一瓶　蜂、虻、蚋、蟻、蚊、蚤、虱、床蟲、毛蟲、蝮、蛇等總て蟲類に螫されたる場合。

◎ミツワ鎭痛液　一瓶四拾錢　打撲傷、挫傷、關節レウマチス、筋肉レウマチス、種々の神經痛等の疼痛のある場合。

◎ミツワ養毛液　一瓶五拾錢　脫毛、無毛、毛髪乾燥、雲脂過多、毛髪の發育を促さんごする場合毛髪の榮養を良くせんごする場合。

◎ミツワ腋臭藥　一瓶　腋臭、會陰臭、手汗、足汗、其他汗の多き或は臭き疾症。

◎ミツワ痲疾洗滌液　一瓶五拾錢　痲毒に因る尿道炎、尿道口より排膿、放尿時疼痛、尿意頻數。

◎ミツワ痔坐藥　六個四拾錢　痔核、痔瘻、肛門裂瘡、脫肛、肛門内に瘙痒ある場合、肛門部に疼痛或は灼熱感ある場合。

◎ミツワ婦人坐藥　六個五拾錢　白帶下、加答兒、子宮内膜炎、子宮外膜炎、子宮實質炎、喇叭管炎、卵巢炎。

醫學士小山田謙編　家庭治療法　四六版本文二百三十頁
疾病の原因や症狀を說き、家庭にて施し得る療法を教へたもので、醫師にかゝるまでの相談相手である。定價金五拾錢　但し其半額（郵券代用不苦）を添へ申込まれば一冊送呈す。

發賣元　◎
東京市日本橋區橘町四丁目
發賣　藥種　藥品　化粧品　小間物問屋
丸見屋商店
電話浪花三〇、四四、四八、四五〇番　振替口座東京七一〇番

藥草　淫羊藿エキス（いんやうかく）

定價　二十瓦入 金壹圓　三十瓦入 金壹圓五十錢　四十瓦入 金壹圓九十錢　五十瓦入 金貳圓三十錢
送料　鮮内 二十錢　鮮外 三十錢

淫羊藿は古來有名なる藥草にして之れを服用する時は靈妙なる効驗ありご支那朝鮮兩國人に愛用せられしが產出地方に限られて彼の高麗人蔘の如く廣く用ひられず普く知られざれども其の効驗は遙かに人蔘を凌駕すご醫家の重用する所なり今や醫院試驗所乃至藥劑家に於て研究中に屬し未だその成分は發表なきも强壯劑こして將亦精力增進劑こして有効なることを認識されたり加之本劑は東醫寶鑑其の他の醫書により其の効能の顯著なるは明白なりご雖も何如なる成分が人體に有効なるかは彼の神秘的なる人蔘ご同じく明白ならざるが故に姑く疑問の解明を將來に待つ外なし併して之れを社會に提供するに至りしは其の實驗上斯かる有効なる藥草を一地方少數人士の使用に限るは國民保健上大なる損失ご思料し精選したる原料より經驗に富める藥劑師をしてエキスごなしたるものなり

主効
一神經衰弱症　一胃腸病　一ヒステリー
一貧血症　一腎臟病　一ヒポコンデリー
一腦病　一生殖器病　一老衰
一脫腸病　一リウマチス　一精力減退

以上に依り適應症左の如し
一、精力を盛んにし精神を爽かにし體力を增し元氣を良くす
二、思考判斷及記憶力の減耗を癒す
三、讀書計算の疲勞を癒す
四、安眠し亦眼の疲れを癒す
五、筋骨の疼痛を癒し又疲勞を恢復す
六、消化及便通を良くす
七、產前產後及病後の衰弱に良し
八、血の道氣鬱症に良し
九、子なき人に良し
十、貧血虛弱を癒し榮養を良くす
十一、手足腰腿の冷ゆるに良し
十二、陰萎遺精及子宮病に良し
十三、神經痛に良し
十四、長壽なるべし

用法及服量　一日半グラム乃至一瓦を溫湯に溶解し若くはオブラートに包みて飲用す
飮時　空腹の時飲用するを良しこす。エキスは香氣苦味を帶ぶ清酒にて呑下すれば樂なり。本劑は少くとも一ケ月以上繼續して服用すべし然らざれば効果少し。六ケ月以上に至り効能特に顯著なり半グラムは小豆大一グラムは大豆大なり

▲本代理部は御承知の方へは前金にあらざるも送品可仕候得共成るべく前金（京城日報代理部　振替京城三〇〇番へ拂込み通信欄にて御注文の事）にて御申越被下度候然らざれば代金引換便にて御送り申候に付御損ご相成可申候
▲價格五十圓以上一時に御注文の方へは一割の特別割引を可致候
▲本藥取次販賣の御希望有之候はゞ御相談可申上候

全國一手販賣　京城太平通り　京城日報社代理部　電話長六〇〇九番・櫛内十八番・振替京城三〇〇番
京城特約店　山岸天佑堂　北島支店

大阪商船汽船出帆
神戶、大阪行（仁川出帆）△日清丸　八月廿七日　後五時出
群山横濱行　臺東丸　八月廿一日　後五時出
×木浦大阪行　信濃川丸　八月廿六日　後五時出
◉西湖津新浦城津清津行（元山出帆）宮島丸　八月廿七日　後十二時
◉釜山、門司、宇品、神戶、大阪行　宮島丸　九月二日　後九時出
◉◉上海、基隆、打狗行（大連出帆）基隆丸　八月廿七日　前六時出　湖北丸　八月　日　後四時出
內地各港出帆主要航路
濁洲行　一年四回　北米行　毎月一回
米洲行　一年四回　孟買行　毎月一回
洲行　毎月一回　南洋行　毎月一回
歐南濠　御注意
◉外航所屬航路ハ五分引以テ連絡船乗客ニ限リ…
大阪商船株式會社　電話二二二〇番　仁川支店　電話七〇八番

日本郵船出帆
◎大連、天津牛莊行　相模丸　月　日　酒田丸　九月七日正午出帆　×高砂丸　八月廿八日正午出帆
仁川海岸通一丁目（電話十番）　郵船仁川出張所

共同汽船出帆
大連直行（關東都督府命令船）共同丸　八月二十七日後入港　八月二十八日前出港
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡輸送御取扱
阿波共同汽船株式會社
仁川代理店　野口商會　本町四丁目（電話一七三番）
元山代理店　田口回漕店（電話二四四七番）
京城取次店　河村運送店　南大門（電話二七六〇、八二二番）

朝鮮郵船出帆
天候船繰等ノ爲發著日時變更スル場合有之ニ付詳細ハ本社又ハ各地支店出張所代理店取扱店ニツキ御承合被下度シ
敦賀行　清津發　城津元山經由
平壤丸　九月七日　清津發　九月十日　元山發
◉浦汐行　大阪發門司釜山元山城津經由
越後丸　八月卅一日　釜山發　九月一日　元山發
◉雄基行　×印江原道各港セズ　關門發釜山各港經由
×山陽丸　八月廿五日頃　釜山發　八月廿六日頃　元山發

汽車　京釜線（南行）　同（北行）　湖南線（南行）　同（北行）　京義線（北行）　同（南行）　京仁線（仁川行）　京元線（北行）　同（南行）
[illegible]

第五版

京城日報

本紙定價　壹ヶ月七拾五錢　六ヶ月四圓二十錢　一ヶ年八圓四十錢(郵送料共)
廣告料金　五號十五字詰一行一圓五十錢　二號七字詰同三圓　四號九字詰同二圓　六號十七字詰同一圓
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　編輯局(六一九番)　營業局(六二番)

京城日報

貴族院各派の聯合警告

全國各地の騷擾は、一先づ鎭靜に歸したりと雖も、米價が徹底的の調節を得ざる限りは何時如何なる變調を呈し、又もや不祥の事變を繰返さんも知るべからず。國民の不安は、目下の小康に因りて全然除去せられたりとは云べからず政府が目下努力しつゝある穀類收用の如きは、常軌を逸せる市場の對症應急の手段としては、何人も異議なき所なるも、要するに劇甚なる胃痛患者に向つて、莫爾比涅注射を施すが如し、以て一時の苦痛を除くべしと雖も、恒久の療法としては有害無益なるを免れず。此際に於ける根本的恒久政策は、獨り米價の調節のみに止まらず、總ての物價をして、國民生活この平準を得せしむるに在り即ち時局に對する經濟政策の根本方針を、徹頭に徹底せしめ、一般の風潮を最善の方面に利導せざる可らず。此點に就いて貴族院各派は聯合して政府に警告する所なりといふが思ふに政府も亦其意を諒とするに吝ならざるべきなり。

米騷擾事件の善後に就て、民間黨派の或るものは盛んに政府を攻撃し、牽強附會の說を爲して之を政爭問題に供用せんと勉めたるに拘らず貴族院各派は單に之を經濟的變態と見做し、之を以て政府の責任を問ふが如きは、將來の惡例を貽すものとして、其の警告に政治的意味を含ましむる事を避けつゝあるは、流石に穩健著實の所見にして、吾人の敬服する所なり。成程政府が彼が如き一大事件の勃發を未然に洞察する能はず、其の施設の多少手緩き憾あるは、吾人も亦同感なりと雖も、こは是れ事後に於ける觀察なり。彼際に當り何人が局に當るも、北陸の一隅に起れる婦人一揆が、かくも迅速に各地に波及すべしと考ふるもののあらんや。勿論政府の施措が稍緩慢に失し、且つ徹底的手段を施すに躊躇せるを責むるならば、政府も敢て其責を辭するものにあらざるべきも、是れこても國家の大臣たるものが、爲に引責處決すべき程の問題にあらず、貴族院諸公の超然として、諸般の俗論を排し、經濟方針の確立を以て善後の唯一方策と爲したるは、最も其の識見の高きを見るなり。

時局に對する經濟的根本方針は何ぞといふに、是實に複雜至極の問題なるが、先づ第一に適度に通貨の收縮を圖ると。第二に有無の交通を圓滑利便にすること。第三に米穀管理。第四に生產保護。第五に生活必要品の分配を過不及なからしむると等を主要なるものとして、要するに國家社會政策を著々施行するに在るべし。戰爭は凡ての物を破壞す。從來の經濟組織が時局の急に應ずるに足らざることは、事實既に之を證せり。目下の急務は區々たる破綻の彌縫にあらずして、根本的の創設ならざるべからず。唯其れ新策の施行は、多くの場合に於いて大なる危險を伴なふを免れず、政府が果して機微を察し、最も安全なる航路を取り得るや否やを疑問とするのみ。聞く貴族院諸公は單純に抽象的字句を列ねたる警告のみを以て足れりとせず、具體成案を作りて政府を督勵するに意ありと傳ふ。憂心國事を憂ふるもの當にしかあらざるべからず。吾人切に速かに其の成案に接せんと冀ふ。

時局と國民思想(二)

內外の時局重大にして近時頻發する政治、經濟、社會の諸問題は國家百年の命運に關するもの尠からず、而して之れらの諸問題に觸れて閃發する國民思想の問題は經世家の三顧を煩はすもの無きに非ず。則ち之を諸家に敲く。(東京支局)

所謂生存權の保障

福本日南氏談　其一

現在の世界大戰は古今未曾有のものである。列強といふ列強が、總立こ成つて武力智力財力を傾倒し遣り出した戰爭である。其處でこれから何物を齎して來るかこ云へば、政治上外交上の二大變化は無論の事、社會的及び經濟的大革命を惹起するに至ることは、火を睹るよりも明かな現象である。故に一國政治の局に當る人は、今日は一方や二方を睨んでゐては仕方がない。日光の東照宮廟の門にある八方睨みの龍を學ばなければならぬ。就中經濟的及社會的革命に最も正當な注意を拂はなければならぬ。何こなれば、此の問題を適當に解決しなければ、其の國は根柢から無秩序に陷つて、混亂狀態を來すに至るからである。國にこつて恐るべきものは、是れより甚だしきものは無い。現在の露西亞を見よ。國情をして一度彼が如くならしめた時には、所謂能者ありこ雖も其の後を善く成すこ能はずこいふことになる。何れの國でも一般の民衆をして火の如く怒らしめるこいふことは、何から來るかこ云へば、手近く例を取れば二つある。其の一は生存の權利を失ふこいふことで、即ち饑餓に迫るこいふことである。今一つは女房を人に奪はれたこいふ時こである。此の二つの場合に際會するこいふこ、如何なる弱蟲でも腰弱でも、恐ろしい勇者になるものである。近くは米穀騷ぎに於て、所謂「十方姓六凸」が本氣になつて、官憲の前に抗立したのは、何よりも確かな證據である。其の騷ぎの原因は何かこ云へば、米が高くて食れない、從つて生存の權利を失はんこするからである。勿論之には種々の原因もあつた。然りながら其の大源を究むれば、戰爭が齎す社會的革命の先驅である。斯の如きものは今後將に相踵いで來らんこす、爲政者に大注意を拂つて、之が對策を講じて貰ひたいこ思ふのは、玆にある。此の際、一つ云つて置きたい事は、全體一民族の上に國家を建て置くの必要は、何處から出たかこいふ事である。これは申すまでもなく、其の圈內に於ける國民の生存を保障しようこいふためからである。百般の法律も、外に對しては國防の兵備を設け內に對しては警察を置き、こいふのも、根本は其處に在る。其の根本たる國民生存の權利が保障されないこいふことになれば、こ云ふことになる。一國の危險は、實を云へば、此より大なるものは無いのである。若し此の點に就て、政治が一步を過るが如きことあるが最後、一國の民衆は忽ち混亂狀態に陷るのである。此の混亂狀態に陷る其の根本は、國家を不必要こするに至るのである。露西亞の如き即ち之れである。斯くいふこ或る者は我帝國などは、露西亞や支那こは國體が違ふなどこいふことを云つてゐるものがある。勿論露西亞や支那こは、建立を異にしてゐる國家には違ひない。然りながら如何に忠愛の思想で涵養されて來た國民でも、其國家の下で食はれない、生てゐられない、こいふ事になればその結果が圖る可からざる者あるはもこよりである。

個性と國民性(三)

文學博士　吉田熊次氏講演

心理上から云ふこ感覺的の感情が主になつて居る。此の種類の個性の人は社交的だこ云はれて居る。勿論弱點から云へば強い堅固な意志がある譯ではないから賴りにはならない要するに子供などによく顯はれる無邪氣のやうであるが賴り少いこ云ふ解釋をして居る。之が若し國民性こなれば斯う云ふ氣象がそつくり國民全體の上に顯れるのである。隨分望みの少い民族だこ斯う云ふ譯になる。此の種類の個性は理性の力こ云ふものは無く、現在を離れて遠い將來のことは無い社會のことに對して觀察するこいふ見識が有るのでは無い。感發に強い意志があるのでも無い。支配せられて其の時其の時に應じて容易く移り變るこいふことになり、民族こしては一定の主義理想を持ち得ないこ云ふことになる。此の第二の膽汁質こ云ふのは神經質の一種或は憂鬱性の氣質こも云はれて居る。此の氣質の特色こしては通俗的に感情の上から云ふこ、深く感ずるこ云ふことはあるが感情の傾き方は何方かこ云へば遲い之れはヴントなども感情の傾きよりして此の氣質を眺めた時に數へる特質である。併し此の感じ方に深く根柢があるこ云ふのでは無いから意志の力を以て強く或る主義を主張するこ云ふことは無い。之を年齡に配當する人は青年期を以て此の氣質の現はれる時期こいふのである。一つの個性を平面的に見て四つの氣質があるこ同時に之を立方的に同じ個人が幼少なる時より老人に至る迄の發達の程度に配當したもので、之に依るこ黑膽汁質は即ち青年期に相當する。青年期は幼年期即ち多血質よりは進步して居るが、其弱點をいへば自由が利かない。各般の事物を考慮して其判斷を確實にするこいふことも出來ない。

鑛山の成敗(承前)

素人鑛業家に警告す　尾山直治

又鑛區の出願に就ても素人の發見したるものを素人が不見轉出願して居るなすことが近時大分流行して居るが一度賣却せば大部分無價値のもので失敗に歸せるもの及び歸すべきもの無數なり此の如き輕擧は余輩の與せざる所にして恐らく監督官廳も其煩に堪へざる所ならん斯かる無茶苦茶の事柄も亦之れ技術者を無視せる素人の妄擧に外ならざるなり以上述ぶる所に依り鑛山の經營には適當なる當事者選定の必要なることを諒解しなば之より其實行方法に就き少しく卑見を述ぶべし

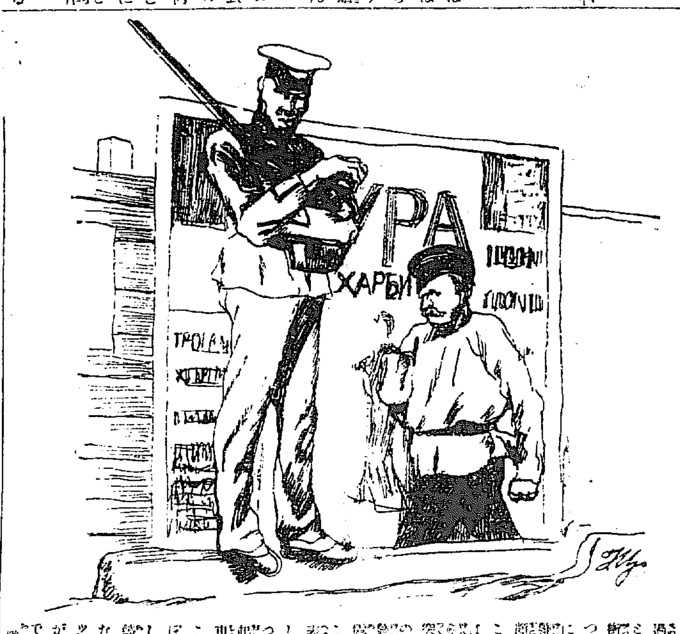
諺に『多きも人少きも人』こ云へるが適當なる當事者は極めて少くされば之が選定頗る困難なり余は之が實行方法に就き陳述するに先ち適當の當事者を次の如く區別す

甲、學識經驗に富む者(高給者)
乙、稍學識經驗ある者(中給者)
丙、學識あり經驗なき者又は經驗あり學識なき者(低給者)

以上三種の當事者中鑛業家こして何人も甲種の採用を希望すべきも是は經濟上及び此種の技術者の缺乏せる爲め普く需要を充たし難き事情あり從て乙種又は丙種の採用を爲さゞるべからず然るに甲種の採用をなせる場合は無論仕事の全般を一任して危險なきも乙種採用の場合は之に一任するの多少不安なる點あり從つて大方針等に就いては甲種相當の相談役乃ち顧問を必要こす丙種に在りては一層其必要を認む然るに此顧問の選定も亦容易ならず顧問は可成報酬を拂はず實驗又は鑛山希望の關係者に依賴するか若しくは報酬を拂ふも學識經驗に富めるのみならず人格高く責任を重んずる顧問を小當又は其時に囑託するを可こす又鑛區の出願に就いても特別の場合を除き成るべく不見轉出願を止め一度專門家に鑑定せしむべく若し不能ならば自己又は信賴し得る代理人をして實地目擊せしめ其鑛物の見本及び母岩の類を採取せしめ同時に露頭の實狀を見取圖に取らせ之を各自信賴する所の會社又は他の技師の鑑定を乞うて大膽の可否を決することを求め然る後出願こ實際に着手せしこことさせず堅實に鑛業を發達せしめ且つ失敗の禍防こ為るべきを信ずる近時素人の不見轉出願地を見る事を試みるの價値あるものすら殆ご少き鑛業界は頗る戒めざるべからず現時の鑛業界は輕薄なる不堅實にして單に素人間の空景氣に過ぎざるの感あり此れ畢竟專門の當事者を有せざるが爲めにして假合ば空中に彷徨ふ雲霞の如く又は羅針盤の如く用意なくして大洋を航せんこするは如く自ら進む方向を決する能はず單に浮動せるに似たり、然れば各消失敗者の續出こ共に自然其の惡擧を悔悟するの時機到來するや必せりこ雖も余が以上記する所は其の自然の時機到來を待たずして素人の覺醒を促し不測の禍害に罹るを未然に防がんこするに外ならず若し此卑見にして斯界の爲め幾分の一助たるを得ば幸甚なり(完)

哈爾賓畫觀(二)

=椅上の支那巡警=　鶴田吾郎



過激派が現はれて以來こいふものは官衙の街上は支那巡警に依つて儆戒されることになつた、物々しい警戒ぶりではあるが、頗る影が薄い、こそ揃いでゐるが、無精な支那靴、突立つてゐる、自分の領地を他處の者に蹂躪されてゐる、然と西班人などは一向これに對して敬意を表さない、傲慢に表して使くも英邁らしくつて非常な氣が迫ても起らないのであらう、車馬の往來の激しいところを黃埃を浴びてぼつさりと立ンボーをしてゐるところは何等の威嚴も感じにもならない、近來チエツク兵が來り日本兵が通過したりするので益々振はないこさ夥しい

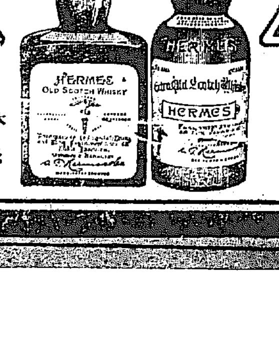
◎覺えたら忘れぬ　新案記憶字引あり(二十版)
▲▲▲一度覺えたら二度忘れぬ
一字覺ゆれば十字をさとる
七萬の文字は一月に覺えらる
▲空前の大著
世間には色々の字引もあるが漢和文選いろは等は異名同種のもので少しも特色なきは人の知る處である然るに此新案記憶字引は十數年苦心せる考案にして其文字の配列順序は吾人の記憶こ同一の索引に一大改革を加へたるが故に日こ云へば月も星も連想記憶の出來る樣に一字覺えたら十字廿字を覺えらる一度覺えたら決して忘れぬのが本書の特色である

文章を作る時に又忘れた文字を引くに誤字や假名遣ひを見るにいろはさへ讀める人なら自由自在である學生紳士商人教育家こも一冊は必ず備へなければ人に話が出來ぬ其の價値便利實益等一讀あれば直ちに判明することにより教育上至大の利益あるは今日の詩る處である
本書は一冊定價金一圓の處今回第二十版發表記念の爲め特價金八十錢に割引す希望者は至急切れぬ内に代金は後金引換郵便ハガキにて注文あれ◎尚此際先着注文者五百名を限り知期に上進す
新式作文速成方式　全一冊を無代添付進呈す前金注文は送料共八十八錢
東京市京橋區北紺屋町一　千代田出版部　電話京橋一四一一番　振替東京三八七一一番

工賃値上廣告
諸物價騰貴の爲め今般組合決議の上工賃を左の通り改定仕候
一工賃(一日)金貳圓
京城 家具建具工業組合

大正七年度現在　遞信地圖
朝鮮總督府遞信局編纂(△折鬪定價一圓△折鬪送料四錢)(△軸製定價二圓五十錢△軸製送料要實費)
發賣元　京城本町一丁目　大阪屋號書店　振替京城一二五七三　電話二〇八六・六八四

朝鮮松丸太材(漢江流下新材)
長貳間以上五間迄
末口一尺以上二尺五寸迄　數萬尺締
鴨綠江材奔騰、品薄、輸送不如意の折柄需要者各位の御便利こ平素の御引立に酬ゆる爲め前記漢江新流下材(鮮人側)殆んど全部を買入候に付ては如何なる多數の御注文にても直ちに貴需に應ずべく多少に不拘御下命の程奉願上候
京城岡崎町　須川材木店　電話龍山四三四番　振替京城一二〇九〇番
●追而杉足場丸太多數持合品有之候
安東縣一番通り　須川材木店出張所　電話四〇五番

HERMES OLD SCOTCH WHISKY
世界の名酒
ヘルメスウヰスキー
永年貯藏熟成せる香りこ口當りよき
ウイスキー飲むならヘルメスウイスキーを!


特製丸瓶角瓶の二種あり
代理店　大阪市東區安土町　祭原伊太郎

なんと言ても
キリンビール丈は
暗闇で飲むでも
味がわかる

發賣元　明治屋京城支店

(市況)
するに過ぎるの材料ありたるのみなるを以て其後の消息判然たらざ[illegible]に於て金貨本位を採用するが如き果して實行可能なりや否や學說こしても研究の要あり何れにするも[illegible]
て綿絲市況は氣配軟弱を呈し定期は三五圓方下押せるが現物も市中閑散の[illegible]を繰返しつゝあり先物大島[illegible]六百五圓紫龍四十手六[illegible]こ內地綿布の軟調に[illegible]ある一方太番手は支那方面の[illegible]
[illegible]に他方新規需要の現出せるもの無き商勢にて大體相場の成行きが原棉こ平行しつゝあるものこ云ふべ[illegible]
[illegible]依然株式[illegible]ちの[illegible]あるこ共に[illegible]こ云ふべきもの、如し(東京)

◎金融更に軟弱

二十二日の金融市場は一面爲替資金[illegible]つある際なれば一般に取手なく漸[illegible]日歩一錢四厘より一錢三[illegible]に無條件は一錢四厘を唱へたる[illegible]銀行は融資を日銀に落めつ[illegible]

▲懸賞(教育こかけて)　廿八日　廿九日
▲「口嘴」時事　廿九日　三十日
▲付「天高し」　三十日　卅一日
▲俳諧「登」　一日　二日
▲川柳「涙」　二日　三日
を更ふる事絶て一週間以內に到着又は同▲發表後一週間以內に掲載者には五十錢贈券を呈す但何書何號こ明記を限る▲宛名は京城日報編輯局懸賞文藝係

◇我派遣軍增兵乎

浦鹽聯合軍間に兵力の不足より我增兵を希望する者有り著々協議進行しつゝある由なれば近く增兵の決定を見るに至るべしと傳へらる（東京特電）

◇英佛軍出動企畫

英佛軍はチェック援助の實を徹底せしむる爲め滿洲方面にも出動企畫しつゝあり猶同地聯合軍の協調は圓滿に解決されつゝあり（東京特電）

◇〇〇隊閱兵を受く

〇〇隊は豫定の如く到着驛前に整列し自動車上の日本旅團長の閱兵を受けたるが其規律嚴肅なるは外人の眼を駭かし中には感極まりて涙を流せる露西亞婦人もありたり是等は各地よりの避難者也（哈爾賓電報）

◇過派汽船出現說

烏蘇里線の西方ハンカ湖に過激派の汽船四隻現はれたるが此はスパスコエより三千名の過激派枝隊を上陸せしめて聯合軍の背部を襲はん爲めなるべしと但し陸軍省にては此の報道を否認せり（哈爾賓電報）

◇チ軍司令官動靜

チ軍司令官ヂーデリヒス將軍は〇〇日〇〇〇〇線に赴けるが將軍は不日〇〇〇〇線に向ふべしと（哈爾賓電報）

◇期して快報を待つ

＝ヴエーラ河附近に於ける
＝我收容戰に關し某將軍談

ヴエーラ河附近に於ける我收容戰に關する陸軍省公表を手にしつゝ某將軍は語つて曰く『愈々我十二師團の精鋭は第一線に立つに到れり公報に據り見れば

▲優勢なる敵 の强襲に遭へるチ軍が遂に退却の已むなきに至るやスイヤギナ附近に在りし我第十二師團の一部は追擊し來る敵に砲火を浴せ以つて敵の追擊を妨ぐると共にチ軍の退却を援護せるものにて是れ所謂收容戰なり而して我砲火一度發せらるるや敵の追擊漸く弱くなり我軍は充分收容しつゝスイヤギナの線を占領し茲に愈々我軍は直接敵と對峙するに至れり此の戰鬪に於ける我死傷數は出動部隊の割に多大なりと言へば相當

▲激戰の進展 中なるを想像すべし而も皇軍此處に出現して直接敵に當る以上鎧袖一觸敵を追拂ふは蓋し瞬く間ならん期して快報を待つべし』（東京特電）

◇支那に最後通牒

段總理の對過激派軍緊急會議

過激派軍は北京政府に對しセ軍及びチ軍を援助せるを詰問し二十四時間內に回答を求むる最後通牒を交付せり右に就き段總理は段芝貴、曹汝霖、靳雲鵬の諸氏を招き緊急會議を開けり（北京特電）

◇總統選擧と議會

總統選擧は九月十日過ぎの豫定にして議會は夫迄休會同樣なるべし（北京特電）

◇英米人對支經濟政策

北京在留の英米資本家は對支經濟政策として支那の內亂治まらざる間は各國孰れも支那に投資するを得ざる事を定めたる四條の決議を爲し英佛公使の手を經て發表せん事を要求せりと（北京特電）

◇米大汽船會社計畫

戰後の激甚なる競爭に立たん

米國にては目下五大米國汽船會社を合併し一大汽船會社の創設計畫されつゝあり該新設會社は太平、大西兩洋の海運を左右し且戰後英獨兩國の利益衝突より生ずる激甚なる競爭に適應するに足る充分の勢力を有す可しと（紐育電報）

○八月中旬氣象概況

本旬中半島を通過せる低氣壓は二回なりしも局部的低氣壓の發現頻[illegible]は雷電を伴ひ鴨江下流域地方に意外の豪雨を齎したるが仁川に於ては同日午前四時三十七分の降出〇餘耗に達し孰れも平年の約七[illegible]南に多量にして特に京仁地方最も多く仁川は三八〇餘耗京城は三六[illegible]上の如く概して陰濕の天候を持續したる爲氣溫は一般に稍低く平均氣溫は雄基の二〇度餘より木浦の[illegible]鎭の三三度三を高極とし楚山龍岩浦の三二度六之に亞ぎたるも北東部の沿岸地方は二六度餘に止まり[illegible]

	龍岩浦	平壤	京城	仁川	全州
	二一八	八一	三六〇	三八四	一九六
	四	五	七	七	九
	二四、〇	二四、四	二四、三	二三、七	二四、四
	三一、六	二九、八	三二、五	二八、四	三〇、五

◇米軍備充實案討議、

議員ロッヂ氏講和條件列擧

米國下院は目下十八歲以上四十五歲迄に限れる徵兵を定めんとする軍備充實案に就き討議しつゝあり右徵兵法案の討議中マッサッチュセッツ州選出議員ロッヂ氏は該法案に賛成意見を述べ且つ戰爭の勝利を略述し後講和條件として左の諸點を列擧せり（倫敦電報）

（一）白耳義、ア、ロ二州、塞爾維、羅馬尼亞の回復（二）ユーゴー、スラビヤ建設（三）波蘭の獨立（四）露國諸地方の回復（五）君府の放棄及び歐洲に於ける土耳古人の撤去

◇墺國外相辭職說

巴里墺國新聞の報道によれば墺國外相ブリアン男は近く辭職すべしと（紐育特電）

◇豐作豫想

一割以上增收

農商務省公表に據れば本月十五日の稻作情況は平年より五分以上增收二府二十四縣五分以內一府十六縣普通作二縣五分以內の減收見込地は僅に山口一縣に過ぎず目下の處にては未曾有の豐作を豫想され災厄季たる暴風雨季さへ無事通過せば平年作より一割以上の大增收、卽ち五千八百二十萬石以上の收穫は確實ならん（東京特電）

◇公設食糧市場

內務省にては全國各府縣に公設食糧市場開設の旨通達せり（東京特電）

◇金銀製品と輸出禁止令

最近金銀に多少の加工を爲し名を製品に藉り事實上金銀地金の輸出を爲す者あり斯ては金銀の輸出禁止令を徹底的ならしむる事不可能なるを以て近く金銀を材料とする製品又は金銀合金の輸出にも大藏大臣の許可を要する事と爲すべしと（東京特電）

◇緬羊普及獎勵

農商務省は緬羊普及獎勵費として本年度の經費三十萬圓を來年度は五十萬圓に增額し一府十二縣の擴張に努むべく尙諸縣に於ける緬羊飼育獎勵策に就いては目下拓殖局に於いて調查中なりと（東京特電）

◇衞生主任建議案

文部省に召集されたる各府縣學校衞生主任會議の結果文相に對する建議案は二十三日附提出されたるが右建議案左の如し（東京特電）

一、府縣學校衞生主任者に關する官制制定せられ度き事

一、國設體育研究所を設置され度き事

◇薄給官吏救濟

內務省にては本省並に各府縣を通じ薄給官吏の窮迫を感ずるもの多きを以て此の際米價又は他の方法により至急救濟の途を講ずべく目下講究中なりと傳へらる（東京特電）

◇神戶市場解合

久しく紛擾せし神戶市場解合成立せしも本月中は休會のことゝなれり（神戶電報）

◇朝鮮新米入荷

朝鮮新米中口一叺釜山伊谷商店より鐵道連絡便にて大阪北野商店に入荷四十五圓替にて中甲商店へ御祝儀商內行はれたり品質乾燥宜しく殊に走り品として古米一粒も混入し居らざるは珍しき事由（大阪特電）

◇辭令

廿四日左の通り辭令ありたり（東京特電）

陸軍大佐 大橋又三
同 少佐 松倉淸次郞
任朝鮮總督府事務官兼部長（各通） 花野彥三
依願免本官

○艀船賃の統一

朝鮮各港の艀船賃は區々にして統一を缺ぎ港によりては破格の不廉なる賃金を徵しつゝあるに付遞信局海事課にては課員出張の際各地の狀況を調査せし結果により成るべく統一するの方針をとり命令航路の受命者たる朝鮮郵船會社にも目下當注意を促し最近元山の艀船賃十五錢を十錢に値下げするやう內示したるが今後は各港共現金拂ひを切符制度とし乘船切符を朝郵の支店若くは扱店にて賣捌く際同時に購求せしむる事となす由

◇陸相重要事項伏奏

大島陸相は二十五日午前九時五十分參內拜謁滿洲里方面派遣軍隊情況其他軍事上重要事項を伏奏し天機を奉伺し後勅問に奉答せり（東京特電）

◇米騷動勃發眞相

全國を通じての主謀者は認めず

司法當局者談＝今回の騷擾は秩序的に各地に勃發せるを以て其裏面に何者か存在し居らずやとの說あり司法當局亦此點に就き眞相を得度努力しつゝあるが尙最後の斷案を下す能はず現在迄の處各地方毎に巨魁煽動者あるを認むるも全國を通じての主謀者は是を認めずと（東京特電）

○朝鮮在米調查（十）

及び新米出廻迄の過不足見込量
＝本社に對する各府郡の回答＝

▲楚山郡（平北）在米九十石新米出廻り期迄不足二百石
▲渭原郡（平北）在米五十石新米出廻り期迄過不足なし
▲遂城郡（慶北）在米三千八百六十石新米出廻り期迄過不足なし
▲麟蹄郡（江原）在米二千石新米出廻り期迄剩餘千三百八十七石
▲江陵郡（江原）在米一萬二百六十二石新米出廻り期迄不足百石
▲加平郡（京畿）在米なし新米出廻り期迄不足約四千八百九十八石
▲木浦府（全南）在米三千五百六十石剩餘五百石
▲扶餘郡（忠南）在米千七百五十石新米出廻り期迄不足二百石
▲北靑郡（咸南）在米七千石新米出廻り期迄過不足なし
▲公州郡（忠南）在米三千石新米出廻り期迄不足若干の見込
▲朔州郡（平北）在米八百八十五石新米出廻り期迄剩餘百五十石
▲金川郡（黃海）在米三千四百石新米出廻り期迄剩餘七百石
▲龍川郡（平北）在米二千石新米出廻り期迄剩餘千石
▲高敞郡（全北）在米一萬石新米出廻り期迄不足なし
▲通川郡（江原）在米千石新米出廻り期迄剩餘二百石

○鮮人と生命保險思想

如何にして普及せしむるか（上）

朝鮮に於ける民間生命保險は大正五年末に於て三萬七千五百の現在契約者を有し之を內國及び他の植民地に比するときは割合に良好なる成績を擧げつゝあるもの如しされども其は大部分在鮮內地人の契約にして其內

▲朝鮮人 の保險契約に至りては實に寥々たるの狀態にあり今試みに大正五年中に於ける某保險會社に就て內鮮人の被保險者を比較するに

『イ』保險會社の被保險者…內地人二千五百人に對して鮮人は一千百人なると

『ロ』保險會社は被保險者…內地人六千三百人に對して鮮人は僅かに九十九人に過ぎず

又之を契約金額に就て見るに『イ』會社の內地人は二百十萬圓鮮人は八十七萬圓なるも『ロ』會社に至りては內地人四百九十萬圓に對し鮮人は僅かに八萬圓に過ぎず

而して此『イ』會社は朝鮮に於て比較的他の會社よりも鮮人の募集に努めつゝありと稱せらる、會社なるが其他數多の

▲保險會社 は支店又は出張所を設け若くは被保險者の募集に努めつゝありと雖も多くは內地人を顧客とし鮮人は僅に都會地の中流以上の階級者のみなる者の如し斯の如く朝鮮に於ける內地人に對しては相當好成績を示すと云ふ民間保險事業が朝鮮人に發達せざる所以のものは本務に對する各國各地に共通の原因即ち『勸誘せざれば發達せず』と謂ふ故障換言すれば適當なる勸誘員は鮮語を解せず又鮮語を解する勸誘員は保險に對する知識に乏しきこと一面事業に對する經營上之が爲め或は又一步進んで加入契約を得たりとするも遠隔の地にあつては或數を得ざることは醫師を招くが如きは經費の許さゞる所なるを以て朝鮮に於ける

▲被保險者 を得る爲には比較的多くの經費を投じて特殊なる勸誘方法を用ゐざるべからず、而も其の契約の金額に至りては內地人の如き良好なる結果を得能はざるが故に營利關係上到底此の方面の勸誘に努むるを得ず自然に放任するの外なき結果なりと思惟さるゝも尙此の外朝鮮特殊の事情伏在するにあらざる歟、今其原因を探究するに左の二項の如きは其主なるものなるが如し

（一）保險金額が鮮人經濟程度に適合せざること

（二）保險機關の普及せざること

即ち此の二個の故障は之を民間保險に到底望み能はざる點なるを以て眞個鮮人に保險思想を注入し其の眞價を認識せしめんには簡易生命保險事業の經營に俟つに非ざれば之を普及し能はざるものと信ず

○長官總督訪問

閔李王職長官は廿五日午前十時總督を官邸に訪問し李太王殿下御病狀其他に關し數刻會談後退出せり

○宇都宮中將南下

宇都宮軍司令官は參謀及び副官を隨へ二十六日午前八時五十分龍山驛發列車にて南鮮駐屯隊巡視のため南下の豫定なり

○露貨又復下落

東淸鐵道にては曩に日淸貨物連絡運輸に適用すべき日露貨幣換算率を百圓に付五百留となしたるが今回更に之を百圓に付五百四十留とす

人事

…る由京城管理局に通知ありたり

▲大村忠一郞氏（大阪淸水高等女學校長）二十五日夜入京旅館本へ
▲濱口庄吉氏（大阪天王寺商業學校長）同
▲鈴木慶北道長官 二十五日歸京
▲淺井武二郞氏（新義州實業家）同上
▲河田嗣郞氏（京都帝大法科敎授）二十四日退京

鳥瞰雜俎

烏蘇里方面では愈々日本軍が第一彈を放つたが大分激戰で日本軍にも比較的多數の死傷者があつた事は昨日の號外の通り▲元來彼の地方は何やらスキーだの何やらフカだのと云ふ讀み僻い地名許りで頗る只ご地理が分りにくい▲だから從つて鳥渡新聞を見ても何處で戰爭して居るのか普通人には合點が行きにくい▲スキーでもきらひでも戰爭の事だから國民は大膽に於て丈でも其經過は知る必要がある▲イヤ知て居らねばならぬ▲判らぬから放て置くなんて其樣なフカんがへな事をしてはならぬ▲で手つ取り早く戰爭の經過を申上ると日本軍は二十日迄はまだ第一線へは行つて居なかつた▲然れども事にせうイ・かい▲浦鹽に上陸したチェック軍とカルムイコフ枝隊とは既に敵をヴエーラ河から烏蘇里鐵道こ越わて烏蘇里河に達するウスペンカ迄の線に壓迫し兩軍はオルロフカに陣地を守備して居た▲處が愈々日本の援應軍を聞いた敵軍は▲勇敢なる日本軍が到着するより以前にチェック軍を全滅させねばならぬご聊か狼狽氣味になつて去る十二日から進擊を始めたが却々以て猛勢である▲十五日にはオルロフカのチェック軍も防ぎ難て退却した而して十六日にはルノフカに踏み止つた▲ステパノフカ前面に居た友軍も退却して遂にヴエーラ河を渡つてコマロフカミアントノフカに迄退却して來た▲越わて廿日になるご敵は又全軍の行動を始め一番左翼に大軍を擁してアントノフカ南方より烏蘇里川に亘る高地に沿うてチェック軍右翼運動を始め▲尙ほ一方正面攻擊をも始めたのでチェック軍は大苦戰に陷つて刻々こ形勢は不利こなつて最早急援がなければ全滅か潰走の外に取る可き手段がなくなつた▲此の急報が傳つて來た日本軍は何條猶豫すべき直ちにスイヤギナ附近に進んで敗走して來る友軍を收容し各國軍こ協力して其の附近を占領した▲するこ之を知つてか知らずでか二十一日になるこ敵は又進擊して來るので茲で日本軍も始めて第一彈を發して戰鬪を開いたが▲敵は大部隊である如何に烏合の衆でも其う思ふ樣には行かぬ殊に日本軍は一方友軍を收容しつゝ奮戰せなければならぬから却々の苦心である▲蓋し最う日本軍が加はつた以上其う無態な敗退はせぬ▲戰爭も之から愈々緊張するのだ國民の元氣も益々緊張して來るのだ

○戰時保險成績

農商務省戰時海上再保險八月中旬事業成績は件數三千六百七十四、再[illegible]萬九千八百二十七圓再保險料十四[illegible]百八十四萬六千八百六十五圓なり（東京）

◇關西新聞大會

[illegible]

◇中隊長名譽戰死

第十二師團發表＝步兵第十四聯隊第二大隊[illegible]

長水院無煙炭（粉塊）一手販賣廣告

炭質優秀 價格低廉 出炭豐富

水分 二、四二 灰分 一〇、五八
揮發物 一七、一六 硫黃 〇、三三
固定炭質 六九、八四 發熱量 七三七〇

露頭附近試掘炭の分拆にて此の結果を得たるものなれば現在採掘中のものはより以上優良なること論を俟たざるべし

價格は精々勉强可仕取纏め多量の場合は特に御相談可致現物先物の契約に應ず

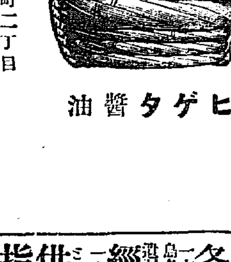
一手販賣 朝鮮平壤本町 株式會社 中村組平壤支店 電話長五〇一番四一番 振替貯金京城一三三

アスファルトフェルト 各種
一便利瓦（新製マルソイド ラバロイド） 各種
京城永樂町二丁目六〇 德田商會 電話二三二五番

中學世界

九月號＝生氣潑溂たり
親の光ミ金の光（漫畫展覽會）
二平、池一路、治平、安英、勘一、鈞、彌氏の傑作
▼竹柏園歌話……佐々木文學博士
◆暑中休業の後…三宅雪嶺
▼高橋作左衞門の事蹟…新村文學博士
▼難船記………平野こめを
◆故國の學生諸君…布哇ヒロ中學敎頭 奈良靜馬
▼受驗生の警語…………鵬路生
◆愚敎師の告白…白石實三
▼仕事の山の中より……齋藤五郞
◆人前で顏を赧くする心…久保良英
▼電子の話…京大講師 吉田理學士
▼小說石塚……佐野天聲 ▼青死病（續）
◆筑波・霞ヶ浦旅行記（筆者二名）
▼京大學生珍生活 ▼一高の窓より……
◆品川沖舟遊びの豫告（本誌主催）
▼ルーズベルト氏の四令息 ▼五色の湖
東京 苦學案內……擔任記者
定價金廿三錢 郵稅一錢半 東京本町 博文館 振替東京二四〇

豫告 本誌增刊 受驗界 九月一日に發賣す

宮內省御用達
千葉縣銚子港 銚子醬油合資會社釀造

ヒゲタ醬油
代理店 京城明治町二丁目 櫻正宗發賣元 山邑京城支店 電話長八四九番・一四五四番 振替貯金口座京城七五番

旅行用具一切
流行洋傘各種
專賣品柳製鞄
東京製鞄各種
防水布マント各種
魔法瓶及中瓶取替
鞄製造販賣
京城本町一丁目 高木旅行用具店 電話一三四番

櫻岳 藤戶計太著
最新朝鮮地理
菊版クロース 八百五十頁 定價金二圓 郵稅十二錢

著者は地理研究に熟誠にして半島の言語、風俗、習慣の諸事に通曉せる朝鮮通にて曾て學生時代に支那富源揚子江を著し盛名嘖々たりしものあり今回の地理研究の結果を發表せり

一本書は大正二年十二月の道府郡行政區域の改正及び其後各道に於ける面洞里の廢合に依る最新の朝鮮地理書にして第一編は全道に於て沿革、位置、境界、地勢、氣候、產物、人種、族別、民籍、戶口、言語、文字、風俗、宗敎、敎育、衣食住、行政、財政、經濟、產業、商業、交通を記し第二編は各道に於て沿革、位置、地勢、交通、經濟、產業、商業、戶口、著名山河を記し第三編は各地七百餘ケ所に於て沿革、位置、地勢、交通、商業、產物、戶口表、官公署、學校、會社、組合、町名、名所舊跡等を記し加ふるに實用的各種の參考表を以てせり

一本書は附錄としてアイウエオ別道府郡島面索引及內地、臺灣、關東州、樺太の地名表及五十音別目次を追加せり

一本書地名には朝鮮諺文を附し日本假名以て音讀を附加し國語、朝鮮語の差を知るに便し引いて字音の關係に依り內鮮融和の資となるを明白ならしめたり

一本書は內鮮人を問はず官民を論せず朝鮮に於て公私諸般の事に從ふ士の最新最好の案內者たり指導書なり

一本書は各種學校各官衙各銀行各會社に最も關係ある著名地の必要なる各般の事項を蒐集して各種學校、講習會の良參考書なり

一本書は緊急事項を得て取捨宜しきに適し讀者をして通覽一過直に半島各方面の事情を遺漏なく通曉せしめ行政に商工業に金融經濟に運輸交通に便ならしめたり

一本書は朝鮮を紹介し又旅行せんとするものの爲めに充分なる調查研究資料を供し事業計畫實行に當り最良指針たり又旅行探險者をして安全なる進行をなさしめ毫も渉水を踏渉するの危險なからしめたり

一本書は名山麗水名所古蹟に關する詳細なる調查資料を供し遊覽者の探勝歷史家の探究に便せり

一本書は全編五百頁文を綴けば卷を覆ふ能はざるを得ず座して各地の事情に精通するを得べく立て全道諸般の事項に當り安然に活動するを得せしむることを注意せり

一本書は資材正確周到にして序次懇切を極め讀者をして多趣ならしめ詩文を各所に配在し誠に空前の好著なりとす

朝鮮事情に精通せんとする有志者は速に本書を購求して左右に備へられんことを望む

發行所 京城太平通一丁目 振替京城二〇〇番 京城日報代理部
取次所 大阪屋號 日韓書房

…に通過せる所ありし就中特筆すべきものは十五日早朝仁川沖に突發せる局部的低氣壓にして夜に入りて…月二十二日に於ける二二九耗九に頭く近來稀有の豪雨を見たり從つて本旬に於ける雨量は西岸中部以…び中部の東岸地方のみは約六〇乃至八〇耗にして同地方は平年の六割乃至八割を測りたるに過ぎず以…し其の他も一度内外の低温なり而中最高氣温は國境地方の内陸及び中部以南は三〇度以上に昇り中江…及氣温を示せば次の如し（總督府觀測所）

地名	雨量（耗）	雨天日數	平均氣温（攝氏）	最高氣温（攝氏）
楚山	八二	四	二三、六	三一、六
雄基	七七	五	二〇、四	二六、二
城津	九六	二	二三、七	二六、一
元山	八九	六	二三、五	三一、三
江陵	六五	七	二三、四	三一、〇
大邱	一一四	六	二四、三	三〇、七
釜山	一四九	八	二四、九	三〇、四

…五十五圓、再保險料□十九萬…百十二圓にして本年四月一日以降累計は件數五萬七千三百四十九、再保險金額十六億四千九百二十一…

廿四日朝大阪ホテルに關西新聞通信社大會開催され出席七十五社寺内内閣彈劾を決議せり（大阪特電）

第五中隊長秀家大尉は二十二日の戰鬪にて名譽の戰死を爲せり（廿五日午後五時東京發至急電報午後十一時十五分著社）

◎西伯利の民を……◇ 饑と寒から救ふ爲
今度新に外務省に設置された 經濟援助委員會の役目 一刻も早く計畫を實施

今度外務省に『臨時西伯利經濟援助委員會』なるものが設置される事になり既にその官制まで發布されたが是は要するに出兵によつて露國の爲めを計る一方西伯利在住民のため物資の缺乏を補給せんとするのである實際今は解禁されたがこの間中まで滿洲から西伯利の輸出が禁止されてゐたもので同地方の在住民は下層民は勿論中産階級の人達でも金は所持しながら衣食の

△非常な壓迫 を受けてゐる、しかし一般に甚だしい缺乏といふのではなく主として配給の便を缺くために起つたものらしい、この儘放置する時は地方的に不穩の形勢を誘致せぬとも限らず殊に冬期に近づくに隨つて彼等の窮狀は愈々甚だしくなるのであるそこで今回設けられた委員會は、この經濟狀態を調査の上配給の圓滑を計り、更に進んでは内地よりの補給をも行ふ只今までの總領事の報告に見るに缺乏物資といふのは主に麥粉、肉類、バタ等の

△食糧品と靴 を始め各種の被服材料である、そしてパンの原料たる麥粉などは從來すべて滿洲から仰いでゐたのに一時たりとも輸入が止つたのは大打撃となつたに違ひない、また地方的には黑龍江口のニコラエフスク及び滿洲里の北方イルクック、チタ等へ掛けて最も甚だしいが、これは目下過激派の勢力下にあるから手が屆くか如何か判らぬ、これが補給に就ても冬期に近づけばいよ〳〵困難となるし殊にニコラエフスクなどは結氷すると殆ど輸送不可能の狀態に陷るから一刻も早く計畫を實施することが必要であるそれには

△東清鐵道を 始め黑龍江、烏蘇里兩鐵道の關係者とも協議の上出來るだけの輸送力を圓滑にすることゝし、なほ腹の方面では或は必要に應じてこれ亦内地から補給するやうになるかも知れないといふ

『廻れ!!! 走れ!!! 小舟々々』＝日盛りの所見＝

◎本邦未曾有の 鋼鐵研究所 東北大學に設置

東北帝國大學理科大學では大阪の富豪住友家の寄附に係る□四十萬圓の豫算を以て本邦學界未曾有の鋼鐵研究所を起し其處に國家の將來に重大關係を有する鐵及び鋼鐵の根本的研究をなす事となり既に

▲文部省に 向つて其一切の豫算を提出中である右に就て福原總長は語る東北大學では兩三年前より小規模ながら臨時理化研究所を起し其處で教授の本多光太郎博士が主任となり鐵及び鋼鐵に關する研究中である本多博士は斯學の世界的學者で既に永久磁石を完成し世界第一の稱ある高速度鋼の合成法を完成して歐米の學界を壓倒せしめてゐる今度の研究所は畢竟現在の制度を

▲大規模に したもので何にしろ我が國未曾有の計畫で國家的意味を有するため出來得る限り斯學の大家を招聘して茲で鐵および鋼鐵の純學術的な根本解決を下したい尤も之が實現の曉にはこれに伴うて東北理科大學に鐵に關する二三の講座を新設して將來世界に於ける一大權威たらしめたいのである

◎滿鮮を 巡遊して……
東京女子高等師範學校長 湯原元一氏談

東京女子高等師範學校滿鮮修學旅行團引率者たる同校長湯原元一氏は此の程歸京したるが滿鮮の實情に就き左の如く語れり（東京支局）

◇滿鮮の經營◇

東京出發は先月の十三日で、青島に著いたのは十六日であつた。先づ三日間同地に滯在して諸所を見物し其れから濟南より泰山に上り更に生徒に別れて天津北京を五日間の豫定で視察し、山海關を經て奉天撫順に至り、大連には五日滯在し、再び奉天に歸つたが個々に河の水害にて直ちに安東縣へ向ひ

▽京城には 一泊した丈で直ぐ釜山に直行し十一日に歸京したのである。巡遊日數は約一箇月であつたが青島へは一行の行くことを豫告してあつた爲め大いに官民の世話になつた。又朝鮮にても總督府から手厚い便宜を與へられた事は、何れも感謝に堪へない次第である。で、最初青島に著いた時は、何と無く四邊の光景に好い感じを持つことが出來た。青島は獨逸が理想的都市經營といふ點に於て

▽世界に類 の無いことを誇つてゐた位であれば、充分に其都市計畫を立てゝゐたことであらうと思ふ。斯樣な大經營大施策の下に在りし青島を日本が引繼いだ事なれば、獨逸の遺力に劣らぬ位充分なる經營をして行かねばならないと思ふ。此點に於ては本邦司令官も充分な注意を拂はれてゐることであると同時に、同地に於ける事で、如何に何事に對しても虛心坦懷に處理されてゐる。新に移住して來る人の取締も頗る

▽用意周到 で、新開地なるにも拘らず、如何がはしき人物は殆ど無い。世間には往々此邊の事を非難するものもあるが、且つ人に對する手前もあり、且つ世界の注目地と成つてゐる青島のことなれば、都市經營に就ては將來大いに愼重に遣らなければならないと信ずる。戰後平和會議に際しても、日本は彼樣遣方を爲てゐるかといふやうな非難の下に、其れを一種の弱點として

▽返還を迫 られ、且つ或は返還しなければならないやうな事にならんも知れざれば、此の事は今より充分の注意を要することである。

▽天産物が 澤山あるのに山東省の責任も亦重大なりと謂ふべきである。日本が得たといふことは幸ひであるが、若し一戰を以て此の地を得なければならぬ。又此の邊の鐵道沿線は、日本として無くてはならぬ者が——即ち多くの鑛山である。單り山東省のみならず日本とは密接な關係をもつのである。例へば四川の炭に次いで濟南にも日本の勢力は除々に植付けられてゐる。雜貨等の如きは殆んど日本品ばかりである。戰爭は如何に成り行くか、推測はされないけれども、此の趨勢が持續されて行くやう、戰後に商工業に注意して行かなければならぬことである。

◎新醫學博士 南滿醫學堂教授の提出論文

官報の如く今回醫學博士の學位を授與されたる者の中□谷銀□郎、花輪繁藏の兩氏は南滿醫學堂教授にして□谷氏は愛知縣の人京大醫科を出で内科研究の爲獨、英に留學研究せり提出論文は『□□のチロヂンを含有する食餌を以て行ひし動物飼養實驗に就て』外數種なり花輪氏は千□縣の人東大醫科卒業試驗に及第の上東大醫科内科選科に入り研究し歐州に留學し皮膚病學を研究せり今回提出論文は『白癬及び面疹に就ての組織檢査に就て』外數種なり（東京特電）

◎二十二名土中に埋沒す

福井縣大野郡北陸電氣會社隧道工事場なる□□隧道は廿四日□□俄然崩壊し作業中の會社員、工夫二十二名□生死不明なるが目下極力發掘中なり（福井電報）

◎瘦我慢して特等米 を食つてゐる此頃の勞働者

◇……月給取は遣繰算段に餘念がない……◇

内地では下級勞働者が當込んで居た外國米が下級勞働者には頗る不評判で、寧ろ一定の收入に依つて生計を營む月給取りの方面に需要があつたが、京城でも既にさういふ傾向があるやうだ、一體内地人の各種勞働者は

▽宵越の錢 は持たぬと言ふ一種の見得を張る習慣があるので日當のよい今日此頃は米價暴騰なんぞは問題でなく痩我慢でも等米を註文し酒は飲む、結局喰潰れに終るばかりでなく貯蓄する金があれば時間に耽ると言ふ始末であるから何時までたつても餘裕ある生活にはなれない係な風で四五十圓位の俸給取が諸物價昂騰の爲に必死になつて

▽遣繰算段 して居ても生活難に苦しめられてゐるのに彼等は月收六七十圓にもなる程の好況に氣が大きくなり贅澤三昧に耽つてるのであるから此等の苦しむのは心掛けが惡いためであると言つても間違ひない下級勞働者が喰潰れを誇つてる反面に中流階級では米が高くて生活を脅かされ前に外米を購つて喰てる對照は一寸妙に感ぜられる併し氣候も追々寒くなり米價以外に

▽薪炭衣類 等も昨年よりもぐんぐん騰貴して居るし結氷時期になれば仕事も少くなるのだから今の内に生活を引緊て置かねば非常な困窮に陷るであらう

◎親殺し（下）
稅關吏員貝江弘 愈々公判に廻つた 彼は斯うして罪を犯した

◇……最後の談判……◇

悄然として立ち歸つた我家も暗かつたが弘の胸の中は尚更暗かつた、そのみならず一方姉妹との不義が上司の耳に這入つたので萬一是が社會にでも漏れるやうなことがあつたら……と云ふ恐怖の念も襲うて彼は讒から下煩悶し懊惱した、そこで彼は最後の交渉を養父に試みて若し不調に終れば

◇最う自殺する より外はないと決心して默然思ひ後、養父廣運死てに死後の跡始末を依頼する旨の遺書を認め同時に自殺用として麒麟麥酒一瓶を用意し監督所備へ付の六連發の拳銃一挺を携へ三月二十六日の夜警視廳を後に飄然開城邑内に赴き料理店入船に登樓して徐ろに飮した揚げ何牛肉、葱などを携へ愈々最後の談判を試むべく佛を辱うて養父を訪問した、折柄家人の姿が見附からなかつたので弘は伸天に命じて養父の行方を搜させ自分は有造の別莊の裏手に上り段にフン反り返つてゐる内につひウト〳〵と

◇眠つて終つた 一時間程經つて家人が歸宅して見ると弘は石段に横臥してゐるので揺り起し兎に角洗つて養父の室に導いた弘は最後の思ひ出に携へて來た酒肴を取出し養父と對坐して談判を始めた、妻の春と義妹のくみは其傍で心配しながら結局如何と聽いてゐた、ところが養父廣運は徹頭徹尾弘の要求を跳つけたので弘は愈々堪忍袋の緒を切らし遺書を養父に衝き突け自分は自殺するから後を賴むと言ひ放つた、此時廣運が優しく出れば好かつたのだが廣運もムカ〳〵してゐる時だから左も憎々し氣に『何うでも勝手にするさ』と

◇空嘯いた爲め 弘は俄かに赫となり懷中から六連發を取出すや否や養父の胸元に差しつけ續け樣に二發放つた彈丸は二發共命中し續いて最う一發放さうとすると姉妹の者が弘の腕に縋り付いたので三發目は外れて隣子の骨を射拔き彈丸は其儘外庭に飛んだ、此時廣運は弘の差しつけた拳銃を捥ぎ取つたけれど何しろ非常な深手の事とて間もなく絶命した、還は一面の韓紅……一方此慘劇を演じた弘は此の儘隣宅に這入り用意の昇汞を仰いで自殺を企てたが容易に絶命しないので更に柔に帶を懸けて

◇縊死を企てて ゐる所を姉妹が發見して抱へ下して一時は事なく蘇生したが間もなく急を報に接して駈つけた醫師の應急手當に依て遂に一命に別條がない迄に恢復し開城署長森脇氏の取調べを受けた結果愈々公判に廻される事になつたのである、弘は今拘置監に居る由だ

◇各地の白米
＝廿五日小賣値段電報＝

▲群山 一等白米一升四十錢廿四日に比し二錢高正米三十五圓三十錢漸々强含みの形勢なり

▲全州 變動なし前日同値

◎職工同盟罷業

大日本紡績□□工場の男女二千餘の職工は今回同盟罷業を爲せるが

◎檢擧一千數百名
重なる匪徒は持種部落の住民

某内務當局者の談によれば今回の騷動にて今日迄檢擧されたる者一千數百名に達し目下嚴重取調べ中なるが最初に起りたる富山縣を除き京都、大阪、神戸、岡山、三重等の匪徒は何れも特種部落民なりと（東京特電）

◎一時間一弗標準に
米國造船職工の賃銀增加要求

米國内に於る優良なる造船職工は正式に賃銀一時間宛一弗標準に增加せられん事を要求し同要求を勞働委員會及び船舶局に提議せり（紐育電報）

◎女、毒を仰ぐ 釜山通信

釜山□□町澤田榮吉妻つね（三□）は毒藥を仰ぎ自殺を謀り目下手當中なるが原因調査中なり（釜山特電）

◎老婆の轢死

二十五日午前八時三十分頃草梁驛附近に於て七十八歳の老婆轢死を遂げたり目下取調中（釜山電話）

◎梅花の□特披露 南山町より旭町一丁目に移轉したる料理店梅花は二十四日午後五時より□□を招待して披露宴を張れり

▽伊勢參宮…… 內地見學團より 堀川生

十七日、日暮れて山田に着き一泊……

十八日は先づ宿を辭して外宮に參拜する、老樹喬木の鬱然たる中を通ると、蟬が啼いてゐる。何となく神々しい……殿裡は森林と共に掛立の建築で、屋根には千木、鰹木を置き、凡て白木の檜造である。何の丹碧の色彩も加へて無いのが却て崇敬の念を生ず。電車で外宮を去り、途中古市の繁華を過ぎ、十一時皇大神宮に詣づ。宇治橋を渡つて五十鈴の清流に口を漱ぎ、千古の森嚴を保つた老樹の下を過ぎて、白布の下つた門前に至る。神殿の構造外宮と同じ、參拜を終つて拜殿の前で記念の撮影をなし二見に向つた。正午二見浦の白砂青松の中に集る旅館の前に投げ出され、行厨を食つて打ち寄する荒波に飛び込む、實に快絶壯絶だ。避暑客は多いが中に這入る者は少い。渚に立つてる子供が時々大きな波に頭を打たれて走り廻る。一寸仁川あたりの人は想像し難い大波だ……海岸としては名物の旅館の蛤燒と貝細工を賣る店とが軒を竝べて、往來の客を呼ぶ。陸から數十間離れて夫婦岩が見える。名程なものではない。午後三時半夕立の中を汽車に乗つて二見を去る。今晩は東海道線泊りだ（十八日車中にて）

讀者文藝（一等には五十錢の郵劵を呈す）

▲川柳「他人」

◎他人には云へぬ辛さを繼子泣き（一等） 京畿道利川 古谷沂光

▲新婚の當座は他人行儀なり 京城 文子

▲子の器量他人の前で試驗なし 安州 殺 六花

▲親よりも他人の方が可愛がり 水天 吾も

▲名を揚げし人は他人の褄を喰ひ 鎌二郎 キの宇

▲他人の空似ほくろ迄とは御念入り 安東 珍竹林

君の代 染毛 赤毛 白

本品は品質本位染法簡便にして卅分間に自然の黑髮に染る

大正七年八月十五日より改正定價 別製三十五錢 特小三十錢

本品は到る處の有名藥店化粧品店にあり

本舖 東京 山吉商店 關西代理店 大阪市東區堺筋通 伊藤朝日堂 電話東七四四、一六六〇七 振替大阪三一一九

大正式製紙機 東京本所長崎町三丁目

物價調節商品現る 自社工場で製造しました日用品を工場から直に手數を省き其口錢だけ安く賣出します 東京府下三河島 物價調節株式會社

富の道しるべ 價十五錢 郵稅二錢 山陰五十嵐村上唯吉著 京城太平通 京日代理部 振替京城三〇

質 大塚質店 京城明治町二丁目 電話一八四九 戰慄すべき火災の防備に完全なる倉庫あり 多額の融通に應ず 御便宜を圖る

最新刊
書名	著者	定價
天然利用健康增進法	伊藤尚賢	九五
心靈現象の問題	小熊虎之助	一、〇〇
開運	森友道	一、二〇
朝鮮の先生	崔在翊	一、二〇

◎獨逸を中心に 第二回三十錢

◎朝鮮大地圖

大阪屋號 京城本町

◎双眼鏡◎ ◎十五形六枚玉十二圓 ◎十三形六枚玉十一圓 送料鮮内十二錢外三十錢 右至急御下命願上候 京城太平通電話一八番 京城日報社代理部

片栗 朝鮮興成 宇佐美製粉所

京日案内
▲申込中後途揭載中止の節は料金不返戾 ▲六回以上の御申込は特に逆行明のこと ▲御照會は返信附にあらざれば回答せず
◎代診一名募集 希望者は至急支局宛履歷書及寫眞を送れ 姓名在京城日報社平壤支局
◎金融 月□の御方へ極秘迅速融通 七個家屋買入擔保御報參上 京城大和町三ノ三 起木屋
事務員募集 廿五歳迄 十七歳以上 希望者履歷書携帶來談あれ但し市內に確實なる保證人を要す 京城南米倉町 齋藤久太郎出張店
舊恩給 證書 立替 五ケ年半迄利子 引取 長谷川町 本人直接 博多屋本店
所主 上京中の歸宅 炸日 京城太平町 坂元分拆所
金地金、高價買入 京城府本町二丁目 電話四七一 振三一九〇 村木時計店
外務員招聘 希望者は履歷書携帶午前中來社 地方は履歷書郵送あれ 黃金町二ノ九六 日清生命保險株式會社朝鮮支部
製造法傳授 價格百圓（至急） 龍山旭橋通 中川製乳所

今年の夏は日焦せぬ！ 美乳 の賜 ますく色が白くなる！

日焦せぬ理由 皆樣美乳の御用意は出來ましたか夏の日光は美容の大敵です例へば海水浴の時などには海に入る前に一滴後に一滴必ず美乳を塗けなければなりません美乳が日焦を完全に防ぐ譯は生地から色を白くする成分が强烈であるからで極めて合理的！

色白くなる譯 然らば何故美乳が生地から色を白くするかと申しますと先づ其の一滴を皮膚に塗けますれば直に内面組織に完全に滲み込んで根本的に之を美白化する其の成分と作用とを博士合議の下に創製した日本に初めて出來た秘藥であるからです

僅か一瓶で美人となる 試驗はタッター週間！ （定價二十五錢）

本舖 大阪白粉本店 矢野芳香園

風流 京城本町二丁目 電話一二八番

胃腸病とタラコン

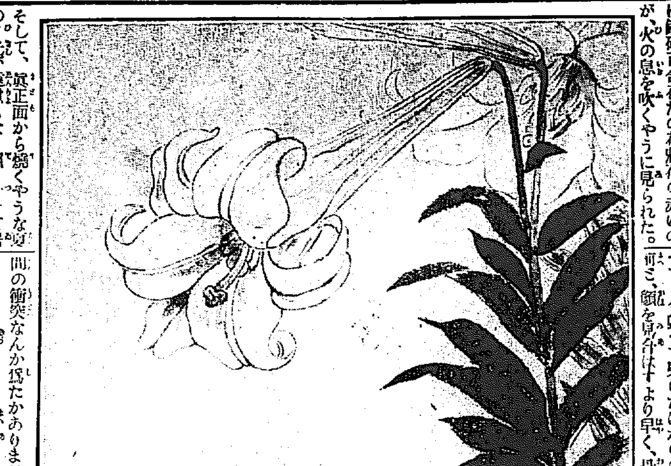
普通胃腸の藥は唯だ一時の消化を助くるか無理に胃液の分泌を促すか又は胃液を中和するだけですが此タラコンは弛緩だ胃腸の筋を引締めて其活動を順調にし胃液を整へ消化を十分にして吸收を好くし本統に健全な身體となります荷くも胃腸病に苦む方は是非御試し被下タラコンの一種峻烈なる刺戟は如何に頑固な長年の胃腸病でも卓効があります 散藥五十錢 一圓 二圓 旅藥 一圓 一圓九十錢 送料八錢 海外卅錢

本舖 東京小石川下富坂町廿 無量壽藥園 電話小石川二九五六 振替東京二〇〇二

外科花柳病 内科婦人病 入院隨意 醫學士 齋 勇 醫士 齋豐次 京城本町五丁目稻荷座前 電話二〇二三番 大和病院

妻の心 (七十四)

十二の一 小林蹴月作 武内桂舟畫



禮子は、約一箇月の後、關山病院を退院するの運びこなつた。所謂氣から起る病氣の方は、永遠に平癒し盡すべきものではないが、一時的卒倒の爲に出た……彼のお傍が櫻井に蹴つ飛ばされた惰力で打倒れた脾腹の痛みは、全く忘れたやうに癒つたのである。今日久し振で、女中ごもに送られて駿河臺の我屋敷へ歸つて見るこ、母の喜久子は流石に厭な顏も爲ないで、懷しさうに出迎へて與れたのである。病院へ行く頃には、梅雨の後ののじめ〳〵こした陰鬱な季節であつたが、今はもう眞夏のからりこした暑い〳〵天氣であつた。庭には鐵砲百合花だの花魁花の赤いのが、火の息を吹くやうに見られた。

そして、眞正面から燒くやうな夏の日光が遠慮もなく照り付けて居るのであつた。

『阿母さま、留守中は嘸お世話さまで御座いましたらう。此のお暑いのにまあ……』こ禮子は、叮嚀に歸宅の挨拶を述べたのである。

『いゝえもう妾は、見る通りの健全な身體だから、是位の暑さには怯けも爲ませんがの。お前は、もうすつかりお癒りかね。妾も一度は自身で出て行かう〳〵こ思ひながらついねえ。』

『いゝえ〳〵、それごころでは御座いません。阿母さまにはお留守番こ云ふ大役がお有りなんですもの。お蔭さまで身體の工合が大變好くなりまして御座います。そして、お阿母さま、旦那樣は、その後一度も御歸宅にはならないんでせうね?』

禮子は、若龍に逢つたり、彼の御芳からの消息に依つて、概略の事情は知つて居るのであるが、物の順序こして——いやその實は、母の口占を引いて見るつもりで、故意こ角立たぬやうに訊いて見たのである。こ、喜久子の顏色は旦那樣こ云ふ一語を聞くこ同時に忽ち險しく變つた。

『旦那樣つて云へば、久さんのこつてせうが、禮さん、お前はまだそんな任ぬるい夢を見てお在のかね。』こ、荒々しい云ふよりも、寧ろ捻ぢ付けるやうな返答である。

禮子は、家の傑こ思ひながら、厭みがちに小膝を擦つて、

『阿母さま、生ぬるい夢こ被仰いますのは……?』

『本統に……お前こ云ふ人の了簡が分りかねますね。折角病氣が癒つて、今歸つて見わたばかりのお前こ、顏を見合すより早く、指子間の衝突なんか爲たかありませんけれごも、久さんはお前、彼れツきり歸つて來る段は俗措き、影法師も見せや爲ないんです。その癖、ちよい〳〵新聞なごを見て見るこ、今日は何々の評議會へ列席したこか、明日は何處々々の宴會に臨んで演説が何うこやら云ふ記事は掲載てるやうですから、東京の內に何處か隱れ家を構へて居る事丈は確かだけれごも、事實上最早絶對に町川家の主人たる町川久三郎ではなくて、宿なしの町川久三郎になつて了つたものこ見做すより外途はありません。お前も丁度身體の癒つたのが幸ひですから、是を機に今までの精神を根本から入れ替へ、久さんの事は一切念頭から洗ひ清めて與れなくちや困りますよ。』こ、事荷くも久三郎の上に及ぶこ喜久子は、相變らずの頑强一點張で、眼中宛ら禮子なきが如くである。後から分つた話であるが、喜久子は、禮子の入院した翌日から、隱居所の方は全部取片付て了つて、母屋の方へ移轉し、家政向萬端の處理方に任じて居たのはまだしも、朝に晩に例の櫻井を膝下に呼び寄せては久三郎の名儀になつて居る動產不動產の取調べ方に、日も亦足らずこ云ふ有樣であつた。つまり、久三郎こ云ふ者に對して、心底から愛憎を盡かした結果、出來る丈財產上の權利こ自由こを剝ぎ去つて了はうこ努めたのである。其處へ禮子の方から、『旦那樣は』こ切り出したのであるから、一堪りもあらう筈がなかつた。

『ほ、ほ、ほ阿母さまのその話は、何も今日に始まつたお話では御座いませんけれごも……良人が若し只今のやうな亂暴な行ひを悛めて、家庭の圓滿を充分に保つ事さへ出來ましたら、然う何も阿母さまの被仰るやうに、今日が今日絕對の他人になつて了ふにも及ばぬやうに思はれますがね。』

禮子には、無論禮子の覺悟があればこそ、是までにない珍らしい判然こした力强い調子で、反抗ではないが云ひ返したけれごも、喜久子の眼は、益々意地わるく險しく光るばかりであつた。

寫…眞…銅…版
亞…鉛…凸…版
コロタイプ印刷
眞鍮…下…凸…版
石版…木…版
電…氣…版
寫眞製版所 門田
京城長谷川町 東亞煙草橫丁

展覽會の魁 美術院の繪畫

大觀、觀山氏等も變つた材料を捕ふ

秋の美術シーズンに魁をする美術院の展覽會も來月は開會される夫れで先づ同院

◎院友の 畫家連は目下頻りに製作に從事中であるが今其の作品を示すこ同院の幹部側では横山大觀氏は桃山時代の歷史人物(六曲一双)こ山水(紙本)人物(同)等を描き下村觀山氏は初夏の擂溜(大横物)で變つた材料を捕へ木村武山氏は花鳥(六曲半双)佛畫(同)を安田靫彥氏は南北朝時代の歷史人物(横四尺竪八尺)を小杉未醒氏は六尺四方の壁畫に西王母を描くを始めこし同人の面々には山村耕花氏が大形六曲に埃及風俗を前田青邨氏は經盛卿熊野参詣を

◎圖題に 繪巻十五枚續きを小林古徑氏は例に依つて耶蘇降誕圖を中村岳陵氏は神秘的な夕陽の山を昨年人氣を背負つた川端龍子氏は朝(池)こ夕(牛)こを六尺四方双幅に印度より歸つた荒井寛方氏は印度を題材こした大作をものし長野草風、橋本靜水兩氏は各六曲を描きつゝある、洋畫では山本鼎氏は信州に旅行寫生中で、長谷川昇氏は五尺四方の大作をした、彫刻では吉田白嶺氏は木彫、藤井浩祐氏は

◎塑造で 各等身大の人物を石井鶴三氏も例の如く眞摯なる作品三點を出す注目す可きは戶張孤雁氏で病氣の故を以て塑造を中止し方面を變へて美人畫(三尺絹本)を描かんこし又佐藤朝山氏は十和田湖畔にて數年間の努力になる木彫一丈の人物を出品する同人候補者の平櫛田中氏は六曲一双に印象新しき印度風俗を中原悌次郎氏は塑造二點を仕上げた閨秀作家で鈴木けん子は德川時代美人畫、石川丹麗氏は三尺絹美人畫をものした其他の出品は次の如くである

▲名取春仙氏 鎌倉大佛(三尺絹本)▲橋本永邦氏 宗教畫(六曲一双)▲眞道黎明氏 印度風俗(二曲一双)▲田中沙月氏 花鳥▲大塚鳥月氏 支那風俗(三尺三幅對)▲小茂田青樹氏 唐獅子蜩こ玉蜀黍(六曲一双)

尙ほ相撲で有名な井上白楊氏は齋生塚(四曲一双)を洋畫の村山槐多氏は病苦を押して八十號の大作に從事してゐる(東京特信)

夏の甘酒

夏の氷は涼しさうですが日中に甘い〳〵甘酒の賣聲は如何にも暑苦しく思はれます併しこれも氷こ同じく夏の飲み物こなつて居ますが寒中の甘酒は好いものですが夏の甘酒は消化力の弱つた場合に大變効力があるもので子供の夏の飲み物こして最も好いものです但しこれも手製の方が安全です、夏は長く保ちません代りに

◆◇早作り が容易に出來ます、其早作りの方法は先づ米飯を少し軟らかに炊いて半な器に移し一息ぬいて後あたり鉢に入れ米飯三合に湯ざまし四合五勺の割合に入れてざつこ攪り交ぜ次に麴三合をよくほぐし交ぜ別に瓶のやうな器に入て蓋をなし六十度前後の溫度に溫め時々かき交ぜるこ

◆◇三時間 乃至五時間で出來上ります、又一つの造り方は米三合をよく磨いで水八合位を入れて白粥に炊き上げそれをお櫃に移し一息ぬいて後、麴三合を入れてよくかきまぜ風の少し吹く處に持つて行つて、よくかきまぜながら人の體溫位になる迄冷やしてから蓋をし毛布等に包んで置くこ午後に造つたものは翌朝は甘酒になつて居ります然しこうして造つたものは一日以上は保ちませんから一度に多く造らぬ方がよいでせう又甘酒は暖かいのを飲むものですが子供なごには暖めたものを冷やして與へますこ大變喜びますに

衛生的成績優秀病院御用 牛乳 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

新刊紹介 (到着順)

▲惣菜料理(十二ヶ月)(赤堀峯吉著)調理界に泰斗たる赤堀料理學校長が[illegible]にして趣味ある料理を十二ヶ月に見立て詳細に說明したる書なり殊に假名付にて文章も至極平易なれば何人にも解し得べく此の書一冊あらば立派な會席料理もおさんごんの手で出來得べき重寶なる著書なり(一圓六十錢 東京博文館)

▲金剛山探勝記(菊池幽芳著)菊池幽芳氏が書いた本で金剛山とは如何なる山か、山中及び附近の各名所案内十八項を氏一流の簡潔明快なる筆で書いたのであるから是まで坊間に行はれた金剛山案内地圖とは違つて極めて面白い本であると紹介して置く(一圓四十錢 東京麹町平河町 [illegible])

讀者の領分

▲先日召集の令狀を受け召集部隊に入隊した者に對し第二十師團により節關照呼の令狀は[illegible]なる場合に於ける令狀は[illegible]如何に處理すべきものなるや(讀者)

[illegible]

内科 胃腸病科 診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話二三七 二九九番

醇良無双清酒 衛生無害品質無双 發賣元 京城府黃金町二丁目 首藤京城支店 長電話一一七一番 釜山港幸町 首藤釜山支店 長電話三四三番

眼科專門 京城若草町(總督府通り若草道路中程) 金井眼科醫院 電一五五六 新築落成◎入院隨意◎日曜祭日午前中

(K) 醫化學器械一式 北島藥店 仁川本町 電話一三四・振替京城六七番 京城本町 永樂町角 北島藥店京城支店 電話七六一番

各種賣藥卸商

◎痔疾專門 (いぼぢ・あなぢ・きれぢ・はしりぢ・ろうこう・だつかう・脫肛・こうもん…) ◎入院隨意 京城久枝肛門病院 京城明治町一丁目本町より入る中程 (電話二二〇二番)

▲パインAG三分計體溫器▼ ◎四大特徵 (1)示度正確 (2)誰にも見易し (3)感應早し (4)決して狂はず ◎農商務省示度標準計に依る檢定證及年齡別平均體溫表添付 ▲優美サック入定價壹圓五拾錢 送料三十二錢 鮮外 パイン撿溫器 發賣元 京城大平通 京城日報社代理部 電話長六〇〇九番 振替京城三〇〇番

司法大臣 松室致閣下題 京城地方法院所屬辯護士法學士 加古貞太郎先生序文 舊韓國財政顧問附財務官 小笠原寬先生序文 法政大學校友 關西大學校友 越智唯七編纂

新舊對照 朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽

大正七年一月一日現在正誤表附總クロース金文字入菊版千百五十頁定價金三圓郵稅十八錢 本書は府郡廢合の整理と既に結了したる土地調査局の調査により確定したる朝鮮全道の行政區域の新舊を對照し錯綜混雜せる沿革を明にしたるもの

一目瞭然にして道、府、郡、島廳及面事務所の所在地を示し、末尾に朝鮮の沿革、日鮮、清、西歷との詳細なる對照年號を示し管區數、人口戶數、道路里數、各道の廣袤交通、產物名稱舊跡溫泉、其他の概況を掲げ

本書は官廳執務上を初め政治家實業家學者、交通產業其他苟も朝鮮に關係を有し朝鮮に精通せむとする士の須臾も缺く可らさる必携書也

京城大平通一丁目 振替口座三〇〇番 京城日報社代理部

◎りん病ばい毒 患者諸君 ▽にせドラッグあり御注意
近來東京其他各地に於てドラッグの類似の商號を使用し紛らはしき藥を賣るもの有之候に付き今般京城に於ても左記以外にドラッグ商會と稱するはそれ皆く好商なり 商號を濫用する好商なり 諸君の御注意を乞ふ
本舖大阪 ドラッグ商會
京城南大門外停車場通 花柳病專門藥房 ドラッグ商會 滿鮮本部 電話二五六七番 振替京城四六七番
京城黃金町三丁目電車通 大阪ドラッグ商會 龍山 同 安

京城龍山其他各地に偽物有御注意

釜山出帆廣告 ◎元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 七月 日後四時出帆 ◎門司、宇品、神戶、大阪行 第三琴平丸 七月 日後四時出帆 ◎天須賀、嚴原、博多行 眞佐丸 七月四日午後十時 釜山港埋立新町 大池回漕部

◎金券發行延期 支那政府は四國團の反對に遇ひて金券の發行を延期せりと云へ[illegible]るも旣に四國團の抗議反對ある以上支那政府に於ても之れを無視し[illegible]外ならん(東京)

支那政府の反省に依り結局延期の[illegible]

◎綿糸弱持合 [illegible]百二十圓金馬十手三百九十九圓見當[illegible]の成行きにて持合の姿なり這は近[illegible]來輸出向き綿絲こ太番手物さの間[illegible]要の減退せるは否定すべからずこ[illegible]く頭材料も左程になく然ればこて[illegible]米棉の四十仙を豫想するが如き强[illegible]金の需要は引續けるも他面に資金[illegible]の回收漸增し殊に大阪方面より[illegible]次に軟調に向へり普通物は取手皆[illegible]無のため步合も出來ず一般に平靜[illegible]に經過しつゝあり(東京)

記者課題及び募集規定

募集規定 [illegible]書又は同形の用紙一枚に雅號文は姓名の外に住所氏名明記の事▲一等は五十錢書籍券を呈す▲[illegible] 締切日 [illegible]